

平成30【2018】年度
入学者選拔要項



大阪市立大学

本学の理念・基本方針等について	1
1 平成30年度 学部・学科、日程別募集人員	9
2 平成30年度 入試方法等 (一般入試、専門学科・総合学科卒業生入試、アドミッション・オフィス入試)	11
3 平成30年度 入試方法等(その他入試)	12
4 一般入試について	
(1) 募集人員	13
(2) 出願資格	13
(3) 選抜方法等	13
(4) 出願に際しての注意事項	14
(5) 入学者選抜実施日程について	14
(6) 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願について	15
(7) 学生募集要項(出願書類を含む)について	15
別表1 大学入試センター試験及び個別学力検査等の教科・科目、配点	17
別表1の教科・科目名の表記及び注意事項等について	23
別表2 経済学部後期日程選抜方法等	25
別表3 医学部医学科前期日程選抜方法等	26
別表4 個別学力検査等時間割	27
5 その他入試について	
(1) 専門学科・総合学科卒業生入試(前期日程)の概要	28
(2) 推薦入試の概要	28
(3) 国際バカロレア入試・帰国生徒入試の概要	31
(4) 社会人入試の概要	32
6 平成29年度 入試結果	
【一般入試 入試結果】	
(1) 志願・受験・合格・入学者数等	33
(2) 最高・最低・平均点表(合格者)	34
(3) 入学志願者数推移表(過去3年間)	35
参考：高校都道府県別 志願者・入学者数調	36
【その他入試 入試結果】	
専門学科・総合学科卒業生、推薦、国際バカロレア、帰国生徒、 社会人(学士・社会人含む)入試における志願・受験・合格・入学者数	37
キャンパスマップ	38
各学部等の所在地・電話番号等(問い合わせ先)	裏表紙

本学の理念・基本方針等について

大阪市立大学の理念

- 大学の普遍的使命－優れた人材の育成と真理の探求－の達成
- 市民の誇りとなる大学
 - ・都市を学問創造の場としてとらえ、都市の諸問題に英知を結集して正面から取り組む。
 - ・教育及び研究の成果を都市と市民に還元し、地域社会及び国際社会の発展に寄与する。
- 市民に親しまれる大学
 - ・都市型総合大学として、都市・大阪の伝統と文化を継承する。
 - ・自由で創造的な教育と研究及び高水準の医療を推進する。
 - ・市民とともに、都市の文化、経済、産業、医療などの諸機能の向上を図り、真の豊かさの実現をめざす。

教育の基本方針

- 都市・大阪を背景とした市民の大学という理念に立脚
- 人類の幸福と発展に貢献
- 様々な分野で指導的役割を果たし、社会で活躍する人材の育成

研究の基本方針

- 新しい知の創造をめざす独創的で特色ある研究を推進
- 都市が抱える様々な課題に取り組み、成果を都市と市民に還元し、地域社会の発展に寄与
- 新しい産業を生み出す芽となる研究を推進し、その成果を社会に還元

人材育成の目標像（学士課程）

優れた専門性、実践性、国際性を有し、総合的な判断力と豊かな人間性を備え、社会に積極的に参加する市民的公共性を持った人材の育成

●大阪市立大学 学士課程の3ポリシー

【大阪市立大学の教育の特色と目標】

大阪市立大学は、1880年の大阪商業講習所設立に始まり、日本で初めて市立の大学として発足した旧制の大阪商科大学を経て、今日まで続く長い歴史と伝統を持つ公立大学です。公立では数少ない総合大学であり、高い水準の多様な学問研究を基盤とする研究大学として歩むとともに、「理論と実際との有機的な連結を重視する学風」や市井の精神に発した自主独立・自由進取の気風を重んじて、大阪の発展や日本と世界の未来を担う人間を長年育成してきました。

大阪市立大学は、これらの伝統を生かしつつ、8学部10研究科の多彩な学問分野にわたる総合大学として、国際的かつ個性的で多様な研究の場を活かしながら、高度で闊達な少人数教育を行っています。多様な課題を抱える大阪や日本ひいては世界の調和と発展に貢献するために、真善美の価値判断を身につけ、英知と市民的公共性を備え、多様な他者と協働しながら、地域・社会の様々な分野で指導的役割を果たせる、次世代の人間の育成をめざしています。

【学士課程のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

大阪市立大学は、学士課程教育を通して、現代人として必要な基本的教養の修得と国際感覚の練磨をめざした教育を行うとともに、専門知識と総合的知識の双方を基礎にして物事を思索し、理解力、洞察力、実践力、指導力、解決力および品性を兼ね備えた人間を育成します。

この目標を達成するために、所属学部において定める専門分野に関する知識・技能等を身につけ、学部の教育理念や目的に沿った指導を受け、所定の期間在学して所定の単位を修得し、審査や試験に合格した学生に学位を授与します。また、全ての学生が、(知識・理解) (技能) (実践的姿勢) (統合的な学修経験と創造的思考力) の領域で以下のような学修成果を修めることをめざします。

(知識・理解)

- ・多文化・異文化を尊重し、理解を深めることができる。
- ・人間と文化、科学と技術、社会と歴史、環境と健康に関する知識を尊重し、理解を深めることができる。
- ・高度な専門知識を体系的に学び、それに基づき柔軟な思考ができる。

(技能)

- ・日本語と特定の外国語を用いて、それぞれに求められる水準で読み、書き、聞き、話し、他者とコミュニケーションをすることができる。
- ・情報通信技術 (ICT) などを用いて多様な情報を収集・分析して適切に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
- ・情報や知識の複眼的、論理的分析に基づき、批判的思考 (クリティカル・シンキング) を行い、その結果を言語や記号で表現することができる。
- ・問題を発見するスキルや、解決に必要な情報を収集・分析・整理するスキルを修得し、その問題の解決に立ち向かう実践力を身につけることができる。

(実践的姿勢)

- ・自分で考え、良心に従い、社会のルールを尊重して自分の責任で判断し行動できる。
- ・他者と協調して行動でき、また、必要に応じて他者に方向性を示し、リーダーシップをとることができる。
- ・地域をはじめとする社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に関与できる。
- ・自ら学ぶ姿勢を身につけ、生涯にわたって進んで学習できる。

(統合的な学修経験と創造的思考力)

- ・これまでに修得した知識・技能・実践力等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。

【学士課程のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)】

1. 「現代人として必要な基本的教養の修得と国際感覚の練磨をめざした教育を行うとともに、専門知識と総合的知識の双方を基礎にして物事を思索し、理解力、洞察力、実践力、指導力、解決力および品性を兼ね備えた全人的人材を養成する」との大阪市立大学憲章に基づき、すべての学部で学ぶ学生が、「ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果」に示された知識・技能等を修得できるように、次の科目群を全学共通教育科目として設置する。学生は自らの学修意欲と興味関心、キャリアデザインに応じて、また各学部が定める履修規程に従って受講科目を選択する。
 - (1) 「人間と環境」「都市・大阪」「生命と人間」「人間と社会」「歴史と文化」「自然と人間」「情報と人間」に関する総合教育科目
 - (2) 英語と英語以外の外国語科目
 - (3) 数学をはじめ自然科学分野の基礎教育科目
 - (4) 健康・スポーツ科学に関する知識・技能を育成する科目
 - (5) 初年次教育科目
2. 地域に基盤を置く公立大学で学ぶ学生としての意識を涵養するため、地域志向系科目をすべての学生が履修できるように学士課程全体を通じて配置する。
3. 地域で学ぶ社会の一員としての意識や国際的な視野を持ち、グローバル化し複雑・多様化する社会にあって、その変革に積極的に関与するために必要な知識・技能や実践的姿勢等を身につける体系的な教育プログラム(副専攻等)を、自らのキャリアデザインに応じて履修できるようにする。
4. 各学部では、学生がそれぞれの学問領域における高度な専門知識を学び、各領域の知識を踏まえつつも柔軟な思考を身につけることができるようカリキュラムを編成する。その際には「学修成果」の「技能」と「実践的姿勢」を伸長させるように、それぞれの学問的特色に応じて授業方法等を工夫する。
5. 各学部の特色に応じて、4年間(医学部医学科は6年間)の学修を統合的に総括する教育を行う。

【学士課程のアドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)】

大阪市立大学は、学士課程の教育を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

そのために、本学の学士課程では以下の方針に基づいて、学生の多様な能力を評価するための入学者選抜を実施します。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待します。

- (1) 高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。
- (2) 本学の全学共通教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認します。
- (3) 各学部のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認します。

●各学部のアドミッション・ポリシー(学士課程の入学者受入れの方針)

商学部

<求める学生像>

「考える実学」教育の方針のもと、実社会について旺盛な探求心と世界的視野を持って学修し、その成果をもって経済社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲と能力のある、人間性豊かな人を求めます。

<入学者選抜の基本方針>

【一般入試(前期日程)】

大学入試センター試験で、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を、個別学力検査では、商学部での学修に十分に対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、調査書の内容とあわせて総合的に評価します。

【一般入試(後期日程)】

大学入試センター試験で、高等学校教育段階においてめざす基礎学力及び、商学部での学修に十分に対応できる準備性をそれぞれ確認し、調査書の内容とあわせて総合的に評価します。

【専門学科・総合学科卒業生入試(前期日程)】

大学入試センター試験で、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を、個別学力検査では、商学部での学修に十分に対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、調査書の内容とあわせて総合的に評価します。

【推薦入試】

推薦書等の出願書類、大学入試センター試験及び口述試験で、学修意欲と商学部での学修に十分に対応できる、基礎学力と知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性を確認し、総合的に評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験で、日本語能力及び基礎学力を、個別学力検査等では、学修意欲と商学部での学修に十分に対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価します。

経済学部

<求める学生像>

経済学部は、高等学校教育段階において人文・社会・自然科学を均衡のとれた仕方で学び、グローバルな経済・社会が直面している問題に関心を抱き、他者とのコミュニケーションや共同の取り組みに対して意欲的な人を受け入れます。

<入学者選抜の基本方針>

【一般入試（前期日程）】

大学入試センター試験では高等学校教育段階においてめざす基礎学力を、個別学力検査で経済学部での学修に十分に対応できる知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの獲得水準を、それぞれに確認し、調査書の内容とあわせて総合的に評価します。

【一般入試（後期日程）】

[高得点選抜]

大学入試センター試験で高等学校教育段階においてめざす基礎学力、及び経済学部での学修に十分に対応できる能力を確認し、調査書の内容とあわせて総合的に評価します。

[ユニーク選抜]

大学入試センター試験では高等学校教育段階においてめざす基礎学力及び経済学部での学修に十分に対応できる能力を、自己推薦書・特別活動要覧等の書類では活動成果・実績を、それぞれ確認し、調査書の内容とあわせて総合的に評価します。

【社会人入試】

筆答試験及び口述試験で、経済学部での学修に十分に対応できる知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの獲得水準と学ぶ意欲とを確認し、総合的に評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験では日本語能力及び基礎学力を、個別学力検査では経済学部での学修に十分に対応できる知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの獲得水準と学ぶ意欲を、それぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価します。

法学部

<求める学生像>

1. 新しい問題に果敢に取り組む知的的好奇心を持つ人
2. 自分を相対化するための想像力と豊かな人間性を持つ人
3. 相手の意見を的確に理解し、自分の意見を論理的に構成して、正確に表現・文章化する能力を持つ人
4. 法学・政治学の専門的知識を身につけるために必要な一般教養を有する人

<入学者選抜の基本方針>

【一般入試（前期日程）】

大学入試センター試験では高等学校教育段階においてめざす基礎学力を、個別学力検査では法学部での勉学に十分に対応できる知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの獲得水準をそれぞれ確認し、調査書の内容とあわせて総合的に評価します。

【一般入試（後期日程）】

大学入試センター試験では高等学校教育段階においてめざす基礎学力を、個別学力検査では法学・政治学の勉学に必要な適性と能力をそれぞれ確認し、調査書の内容とあわせて総合的に評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験では日本語能力及び基礎学力を、個別学力検査等では法学部での勉学に十分に対応できる知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの獲得基準と学ぶ意欲をそれぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価します。

文学部

<求める学生像>

- ・人間の思考と社会・文化の生成発展について考えてみたい人
- ・人間行動の原理と社会のしくみについて考えてみたい人
- ・さまざまな言語や文学・芸術について考えてみたい人
- ・論理的思考を鍛え新しいものの見方を求めようとする人

<入学者選抜の基本方針>

【一般入試（前期日程）】

大学入試センター試験では、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を、個別学力検査では、文学部での学修に十分に対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、調査書の内容とあわせて総合的に評価します。

【一般入試（後期日程）】

大学入試センター試験では、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を、個別学力検査では、文学部での学修に十分に対応できる、論理的思考力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、調査書の内容とあわせて総合的に評価します。

【国際バカロレア入試】

成績証明書等の出願書類、小論文及び口述試験で、学ぶ意欲と文学部での学修に十分に対応できる、基礎学力と知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性を確認し、総合的に評価します。

【帰国生徒入試】

成績証明書等の出願書類、小論文・外国語試験及び口述試験で、学ぶ意欲と文学部での学修に十分に対応できる、基礎学力と知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性を確認し、総合的に評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験で、日本語能力及び基礎学力を、個別学力検査等では、学ぶ意欲と文学部での学修に十分に対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価します。

理学部

1. 自然科学の基本原理を理解する基礎学力を有し、各学科の入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に掲げる学生を求めます。理科選択制度については、物理学科、化学科、生物学科、地球学科の少なくとも1つの学科の入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に掲げる学生を求めます。
2. 学力の3要素のうち、一般入試では知識、思考力・判断力・表現力に重きを置き、推薦入試と編入学試験では、さらに主体性・多様性・協働性に重きを置いた選考を行います。

数学科

<求める学生像>

- ・数学のアイデアに感動し、さらに深く探りたいと思っている人
- ・定理や公式の証明あるいはこれらを使った計算を、よりよく理解したいと願っている人
- ・過去に分からないままだった数学の内容について、疑問を抱き、粘り強く考えたい人
- ・さまざまな科学のなかで用いられる数理的な方法や捉え方に関心のある人
- ・数学のなかに現れる言葉（概念）や論理のもつ特有の普遍性や美しさが好きな人

<入学選抜の基本方針>

一般入試（前期日程・後期日程）において次を確認します。

1. 前期日程では、大学入試センター試験で高等学校教育段階において目指す基礎学力を総合的に確認し、個別学力試験で理学部数学科での学修に対応できる能力を確認します。
2. 後期日程では、大学入試センター試験で高等学校教育段階において目指す基礎学力を数学と外国語に特化して確認し、個別学力試験で理学部数学科での学修に十分対応できるよう高等学校教育課程までの数学について高度に習熟していることを確認します。
3. 本学の全学共通教育に十分対応できる能力を備えていることについて、一般入試で課している大学入試センター試験では、題意を的確に読み取り解答を見出すための判断力と思考力を確認します。個別学力試験においては、より複雑な問題の題意を正確に把握する理解力、自らの力で解答への道筋を発見する思考力、解答を論理的に記述する表現力を確認します。

私費外国人留学生入試では、日本留学試験と個別学力検査等により、高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力ならびに日本語の読解力と聴解力を確認します。

物理学科

<求める学生像>

物理学を理解する基礎学力を有する人で、以下のいずれかに当てはまる学生を求めます。

- ・自然のなりたちや美しさに興味を抱いている人
- ・ものごとの基本原理を理解したい人
- ・実験や観察に工夫をすることや、ものを作るのが好きな人
- ・集中して考え続けるのが好きな人

<入学選抜の基本方針>

入学試験では、次の点を確認します。

1. 一般入試（前期日程・後期日程）では、高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力、および物理学の理解に必要な学力の確認に重みを置いた選考を行います。
2. 推薦入試では、小論文、口頭試問を通し物理学の理解に必要な基礎学力および学習意欲を確認します。
3. 私費外国人留学生入試では高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力ならびに日本語の読解力と聴解力を確認します。

化学科

<求める学生像>

向学心旺盛で、化学の専門知識・概念を科学・産業・文化・社会の発展に役立てたいと考えている人や、自然現象を化学的に解明したいという知的好奇心をもった人を広く受け入れます。次の指針を理解した上で、国内外の高等学校、短期大学、高等専門学校での学びを深め、知識を広めることを期待します。

<入学者選抜の基本方針>

1. 一般入試、推薦入試では高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力を確認します。
2. 編入学では、化学科3回生の講義科目を受講しうる基礎学力を備えていることを確認します。
3. 一般入試（後期日程）、推薦入試、編入学では面接または口頭試問を行うことで、学びへの意欲や主体性を確認します。
4. 私費外国人留学生入試では高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力ならびに日本語の読解力と聴解力を確認します。
5. 本学の全学共通教育に対応できる学力を備えていることを確認します。
6. 化学科のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認します。

生物学科

<求める学生像>

生物学科は、自然科学の基本原理の理解に必要な基礎学力を有する人で、次のような学生を求めています。

- ・生物・生命現象に対して深い興味をもっている人
- ・生物・生命現象の法則性の解明に情熱をもっている人
- ・生物・生命現象に関わる専門知識に基づいて社会に貢献したいと思っている人

<入学者選抜の基本方針>

入学試験は、次の方針で行います。

1. 一般入試と推薦入試では高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力を確認します。
2. 推薦入試では面接と口頭試問を実施し、学習に対する意欲や主体性について確認します。
3. 私費外国人留学生入試では高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力ならびに日本語の読解力と聴解力を確認します。
4. 本学の全学共通教育に十分に対応できる基礎学力や学習能力を備えていることを確認します。
5. 生物学科の上記のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認します。

地球学科

<求める学生像>

地球学科は理学部の1学科として、次のような学生を求めています。

- ・地球への好奇心や探求心の旺盛な人
- ・地球の法則性を解明しようとする意欲に満ちた人
- ・地球に関係する分野で社会に貢献したいと希望している人

<入学者選抜の基本方針>

入学試験は、次の方針で行います。

1. 一般入試、推薦入試では高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力を確認します。
2. 私費外国人留学生入試では高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力ならびに日本語の読解力と聴解力を確認します。
3. 本学の全学共通教育に十分に対応できる学力を備えていることを確認します。
4. 推薦入試では面接と口頭試問を行うことで、学びへの意欲や主体性を確認します。

工学部

<求める学生像>

工学部では、社会のさまざまな課題と将来について深い関心を持ち、その課題発見と解決に貢献し、更に21世紀の科学技術や社会の発展に貢献しようという強い意欲と向上心に溢れる学生を、以下に示す各学科のポリシーに基づいて広く受け入れます。

機械工学科

今日の機械工学が扱う複雑な問題の解決には、様々な視点からのアプローチが不可欠となっています。そこで機械工学科では、原子・分子レベルのナノ・ミクロスケールから、環境・社会などのマクロスケールまで横断的に捉えた特色あるカリキュラムを提供し、色々な視点から問題を考察できる能力の育成をめざしています。そのため本学科では、以下のような人を求めています。

1. ものづくり、物理や数学、人・社会・環境に興味がある人
2. 次世代の先端材料の開発や機械の創成に意欲のある人
3. 機械工学を学ぶのに必要な基礎学力（特に数学、理科、外国語）を有する人
4. 論理的にものごとを考え、自ら問題解決をはかる意思のある人
5. 様々な人と意見交換ができ、協力して課題に取り組むことができる人

電子・物理工学科

電子・物理工学科は、電子工学や半導体工学、ナノマテリアルや物質表面構造を含む新たな電子・光機能性材料の開拓、光と物質の相互作用や光を利用した工学（物質の発光機構、太陽電池、レーザー、テラヘルツ電磁波など）、またそれらの基礎となる物性理論、と多岐にわたる先端的研究開発を支える技術者や研究者の育成をめざしており、次のような意欲的な学生を求めます。

1. 物理学や電気・電子工学に興味があり、それを幅広い工学に応用することに深い関心を持つ人
2. 物質、電気、光などの物理学的性質の解明と新規機能の開拓、実験的また理論的解明などの幅広い電子・物理の科学技術に強い興味を持ち、主体的かつ積極的に学習・研究する意欲に溢れた人
3. 国際的な視野から新たな課題を見出し、それに積極的に挑戦する意欲を持つ人
4. 日本語や英語などによるコミュニケーション、プレゼンテーション能力の向上に努め、グローバルに工学分野への貢献を目指す人

電気情報工学科

高度な情報化社会を迎え、広い視野と電気・電子・情報工学などを基礎とし、エレクトロニクス、コンピュータ、情報処理、通信、制御などの幅広い関連技術に関する柔軟な応用能力を身につけた研究者・技術者が望まれています。電気情報工学科では、電気および情報・通信関係の広範囲な問題に対処する適応能力を習得し、さらに、未知の問題を自らの手で解決していく自主性と独創性を持つ技術者・研究者の育成を目標としています。そのため本学科では次のような人を求めています。

1. 電気工学および情報工学分野に対する興味と探究心が旺盛で、新しい分野を切り拓く技術への研究開発に熱意のある人。意欲を持って幅広い分野の勉学ができる人
2. プログラムや電子回路などの「ものづくり」を得意とする人、あるいは身近な情報通信機器のしくみに強い興味を持ち、より利便性が高い機器を研究開発してみたいという意欲が旺盛な人。また、電子機器やロボットの制御に興味のある人
3. 自主・自立の精神が旺盛で、広い視野を持ち、倫理観のある人。社会の中で自分だけでなく他人をも活かす気持ちを持ち、それに向けて努力できる人

化学バイオ工学科

化学バイオ工学科では、物質・生命およびその変化を原子・分子レベルや遺伝子・細胞レベルで理解できる基本的考え方を身につけ、化学・バイオに関わる基礎理論と技術の実際を学びます。さらに、化学・バイオの先端領域で活躍し、かつ技術者としての責任感・倫理観を身につけ、広く社会に貢献できる人材を育成することをめざしています。そのため本学科ではいずれの入試選抜方法においても、次のような人を求めています。

1. 化学・バイオについての基礎知識を理解できる能力を有し、意欲的に勉学に取り組める人
2. 化学現象や生命現象に対する興味と探究心が強く、新技術の開発に熱意を有する人
3. 実験や自然観察が好きな人
4. 論理的な記述、論理的な発表力など、研究能力とともにコミュニケーション能力を高めることに努力する人
5. 幅広い教養の習得に熱意をもち、倫理観のある人

建築学科

建築学科は幅広い分野に対応しており、以下のいずれかの素養や能力を有する多様な人材を求めています。

1. より良い人間生活と社会づくりに向けて、建築や社会の問題を解決するための幅広い知識と技術の修得に意欲のある人
2. 探究心が旺盛で、人間・社会・自然界で生じるさまざまなできごとや、それを支える仕組みに興味のある人
3. 建築という形のあるものを創り出すことや、それを実現するための学術・芸術・技術に対する興味と意欲のある人
4. 立体的な思考が得意で、ものづくりや空間への興味・関心が高く、創造力の豊かな人
5. 自分の意見を相手に伝えるコミュニケーション能力の向上に対する意欲のある人
6. 建築学に関する専門科目を習得するのに必要な一定レベルの学力があり、人文・社会科学、文化、歴史など幅広い分野に興味のある人

都市学科

都市学科では、社会の要請を的確に把握し、倫理観と責任感に基づいて主体的に行動する「環境都市づくり」のプロフェッショナル育成を目指します。そのため、以下のような素養や能力を有する人を求めています。

1. 社会・文化・生活などと関係する都市の多様性を理解し、複眼的な視野で物事を捉えることができる人
2. 歴史や文化を継承しつつ機能的で美しい都市づくりに興味を持っている人
3. 都市圏における環境の保全・再生や自然との共生に強い関心があり、自律・循環可能な都市の創出に貢献したい人
4. 災害に強く、人々が安全・安心・快適に暮らすことができる都市を創生するための技術やマネジメントに興味を持っている人
5. 自主的に調査・実験や演習に取組み、環境や都市に係わる課題を認識・抽出して問題を解決することに努力をいとわない人
6. 技術の開発・適用に必要な理数系科目だけでなく、国際的な視野と人間の行動様式に関わる語学や社会科学系科目にも興味・関心が高い人

＜入学者選抜の基本方針＞

【一般入試(前期日程)】

大学入試センター試験で、高等学校教育段階において目指す基礎学力を、個別学力検査では、工学部での学修に十分に対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、調査書の内容とあわせて総合的に評価します。

【一般入試(後期日程)】

大学入試センター試験で、高等学校教育段階において目指す基礎学力を、個別学力検査等では、工学部での学修に十分に対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、調査書の内容とあわせて総合的に評価します。

【推薦入試】

調査書等の出願書類、小論文及び口述試験で、学ぶ意欲と工学部での学修に十分に対応できる、基礎学力と知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性を確認し、総合的に評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験で、日本語能力及び基礎学力を、個別学力検査等では、学ぶ意欲と工学部での学修に十分に対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価します。

【指定校制推薦入試】(建築学科のみ)

本学が指定する高等学校の生徒を対象に、推薦書等の出願書類及び面接で、学ぶ意欲と工学部での学修に十分に対応できる、基礎学力と知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性を確認し、総合的に評価します。

医学部医学科

＜求める学生像＞

本学では「智・仁・勇」を有する医療人となりえる素地を持った人材を求めています。自ら学習課題を設定し、その課題に向かって勉学に励める人の入学を希望します。

＜入学者選抜の基本方針＞

【一般入試(前期日程のみ)】

大学入試センター試験で、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を、個別学力検査では、医学科の学修に十分対応できる知識に基づいた思考力・判断力、表現力を確認します。さらに、個別面接を行い、「智・仁・勇」を有する医療人になりうる資質についても確認します。

医学部看護学科

＜求める学生像＞

1. 人間やその生活に深い関心がある人
2. 幅広い基礎学力を備え、目的意識を持って積極的に学ぶ姿勢のある人
3. 協調性をもって、他者とともにもまたはチームで行動できる人
4. 看護の実践をとおして保健・医療・福祉の向上に寄与する意志を持っている人

＜入学者選抜の基本方針＞

【一般入試(前期日程)】

大学入試センター試験で、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を、個別学力検査では、看護学科での学修に十分に対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、調査書の内容とあわせて総合的に評価します。

【推薦入試】

志望理由書等の出願書類及び大学入試センター試験で、学ぶ意欲と看護学科での学修に十分に対応できる、基礎学力と人物・能力・資質などの準備性を確認し、総合的に評価します。

【学士・社会人入試】

筆答試験及び口述試験で、学ぶ意欲と看護学科での学修に十分に対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性を確認し、総合的に評価します。

生活科学部

食品栄養科学科

本学科では、学科の学習成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、大阪市立大学ディプロマ・ポリシーに基づき、以下の入学者受け入れ方針を設定し、優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

- (1) 高等学校教育段階で設定されている数学、理科、外国語の基礎学力と応用力を確認します。
- (2) 本学の全学共通教育や本学部内の横断的な科目の履修に対応できる幅広い基礎学力を確認します。
- (3) さらに、本学科のディプロマ・ポリシーを達成し得る資質として、小論文や面接などを課す多様な入試も行い、以下の様な項目を確認します。
 - 1) 食品と栄養に関する分野に関心が高く、探究心旺盛で、論理的な思考力をもって、将来、食と栄養の分野で活躍する熱意。
 - 2) 環境や社会の仕組み、現代社会の食と栄養がヒトの健康に与える影響に関心があり、食生活に起因する諸問題を解決したいという意欲。
 - 3) 病院、行政、小中学校における栄養学の実践に対する興味。
 - 4) 大学院等で、さらに高度な専門的知識と能力を身につけ、大学教員、高度専門技術者や指導の立場を担う臨床栄養士を目指す意志。

居住環境学科

本学科は、新たな居住環境の創造・管理に積極的に取り組む意欲にあふれた人を求める。具体的には、次のような目的意識や勉学意欲を備えた人を受入れる。

- (1) 住む人、使う人の立場に立って居住環境に対する諸要求を把握し、その実現を目指す人
- (2) 居住環境を取り巻く社会問題・環境問題を思考し、主体的にその解決を目指す人
- (3) 図面を書き、模型をつくるという創作・表現活動に積極的に取り組む人
- (4) いろいろな立場や考え方の人と協力・協働しながら、適切な判断を行い、ものごとを進めようとする人
- (5) 大学内外で居住環境に関する知識を積極的に学習する人
- (6) 文科系科目以外の数学、物理学、化学などの学習に積極的に取り組む人
- (7) 卒業後、大学院修士課程に進学し、さらに高度な「専門的職業人」を目指す人

(1)は、居住環境学科の教育理念に基づく一番重要な点である。

(2)～(4)については、必ずしも全部を入学時点で満たしている必要はなく、入学後の自学自習によって獲得できる。

(7)については、必ずしも全員が満たしている必要はない。

一般入試においては、基礎的学力を大学入試センター試験の成績にて判定し、居住環境に関する知識を学習する上で不可欠な数学力、及び英語力を個別学力試験にて判定する。

推薦入試においては、居住環境を学ぶ上で必要な基礎的学力を大学入試センター試験の成績にて判定し、志望理由書で居住環境に関する知識、思考力、判断力、表現力を判定する。さらに、口述試験において主体性、多様性、協働性を判定する。

人間福祉学科

本学科では、学士課程の教育を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、人とかわり、人を支えることに関心をもち、福祉課題の解決に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

そのために、本学科の学士課程では、以下の方針に基づいて、学生の多様な能力を評価するための入学者選抜を実施します。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待します。

- (1) 高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。
- (2) 本学の全学共通教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認します。
- (3) 人間福祉学科における教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認します。
 - ・基礎的なコミュニケーション能力を備えていることを確認します。
 - ・人権を尊重する姿勢を備えていることを確認します。

※各学部（各学科）の詳細（教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は以下をご参照ください。

http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/admission_policy/



1 平成30年度 学部・学科、日程別募集人員

単位：人

募 集 人 員						
前 期	後 期	専門学科・総合学科 卒業生入試 (前 期)	推 薦	社 会 人	学士・社会人	合 計
1,195	198	6	73	5	5	1,482

単位：人

学 部	学 科	日 程	募 集 人 員	
商 学 部	商 学 科 公 共 経 営 学 科	前	198	235
		後	25	
		専門・ 総合	6	
		推薦	6	
経 済 学 部	経 済 学 科	前	170	220
		後	45	
		社会人	5	
法 学 部	法 学 科	前	145	165
		後	20	
文 学 部	哲学歴史学科	前	※1 125	155
	人間行動学科	後	30	
	言語文化学科			
理 学 部	数 学 科	前	18	24
		後	6	
	物 理 学 科	前	22	32
		後	7	
		推薦	3	
	化 学 科	前	25	37
		後	7	
		推薦	5	
	生 物 学 科	前	16	28
		後	6	
		推薦	6	
	地 球 学 科	前	12	18
		後	3	
推薦		3		
理 科 選 択		前	9	9
小 計		前	102	148
		後	29	
		推薦	17	

学 部	学 科	日 程	募 集 人 員	
工 学 部	機 械 工 学 科	前	45	56
		後	10	
		推薦	1	
	電 子 ・ 物 理 工 学 科	前	35	42
		後	6	
		推薦	1	
	電 気 情 報 工 学 科	前	39	48
		後	8	
		推薦	1	
	化 学 バイオ工学科	前	45	56
後		10		
推薦		1		
建 築 学 科	前	21	34	
	後	6		
	推薦	7		
都 市 学 科	前	40	50	
	後	9		
	推薦	1		
小 計		前	225	286
		後	49	
		推薦	12	
医 学 部	医 学 科	前	95	95
	看 護 学 科	前	40	55
		推薦	10	
		学士・ 社会人	5	
	小 計		前	135
		推薦	10	
		学士・ 社会人	5	
生 活 科 学 部	食 品 栄 養 科 学 科	前	27	35
		推薦	8	
	居 住 環 境 学 科	前	35	43
		推薦	8	
	人 間 福 祉 学 科	前	33	45
推薦		12		
小 計		前	※2 95	123
		推薦	28	

※1 国際バカロレア入試、帰国生徒入試の募集人員若干名を含む。

※2 国際バカロレア入試の募集人員若干名を含む。

(注 意 事 項)

- 1 商学部の「専門・総合」は、「専門学科・総合学科卒業生入試」の募集人員です。
詳細は「専門学科・総合学科卒業生入試学生募集要項」をご確認ください。
- 2 商学部、理学部、工学部、医学部看護学科、生活科学部の「推薦」は「推薦入試」の募集人員です。
詳細は各「推薦入試学生募集要項」をご確認ください。
- 3 工学部の「推薦」には、「指定校制推薦入試」の募集人員（6名）も含まれます。
- 4 経済学部の「社会人」は、「社会人入試」の募集人員です。
詳細は「社会人入試学生募集要項」をご確認ください。
- 5 医学部看護学科の「学士・社会人」は、「学士・社会人入試」の募集人員です。
詳細は「医学部看護学科学士・社会人入試学生募集要項」をご確認ください。
- 6 文学部で「国際バカロレア入試・帰国生徒入試」、生活科学部で「国際バカロレア入試」を実施しています。募集人員はそれぞれ若干名です。詳細は各募集要項をご確認ください。
- 7 理学部前期日程の「理科選択」とは、第1年次終了時に、物理学科、化学科、生物学科、地球学科の4学科の中から希望する学科を選択することができる制度です。
前期日程の募集では、第3志望まで学科を選択できるようになっていますが、「理科選択」も志望学科の一つとして募集を行います。
- 8 医学部及び生活科学部は、後期日程の募集を行いません。
- 9 医学部看護学科の保健師教育課程の履修については、学内選抜による定員制となります。
- 10 生活科学部人間福祉学科の社会福祉士受験資格取得に係る実習・演習科目の履修については、学内選抜による定員制となります。
- 11 商学部の学科決定は第2年次の8月に行います。なお、志望者多数の学科では学科定員を基準として、選抜を実施します。そのため、志望する学科に進めない場合があります。
文学部の学科・コースの決定は第1年次の12月に行います。なお、志望者多数の学科・コースでは、標準履修者数を基準として、選抜を実施します。そのため志望する学科・コースに進めない場合があります。
- 12 商学部、経済学部、法学部、文学部、理学部、工学部、生活科学部については、「私費外国人留学生入試」を実施しています。募集人員は、各学部・学科若干名です。
詳細は「私費外国人留学生入学選抜要項」をご確認ください。

2 平成30年度入試方法等

(一般入試、専門学科・総合学科卒業生入試、アドミッション・オフィス入試)

入試方法等 学部・日程別		個別学力検査等						専門学科・総合学科卒業生入試					アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考 〔欠 充 方 法 等〕																																		
		実技試験等			2段階選抜			個別学力検査を課す																																									
		実技試験を課す	口述又は面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングを課す	外国語におけるリスニングを課す	受験者について更に必要な試験等を行う	第1段階の選抜による合格者数	募集人員に対する倍率	その他	実技試験を課す	口述を行う				小論文を課す	外国語におけるリスニングを課す	募集人員																															
商学部	前期	○	×	×	×	×	○	6	×	○	×	×	×	×	6	×	2月25日	追 加 合 格 に よ る																															
	後期	×	×	×	×	×	×	—		×	×	×	×	×	なし	×	—																																
経済学部	前期	○	×	×	×	×	○	6		×									2月25日																														
	後期	×	×	×	×	×	×	—											—																														
法学部	前期	○	×	×	×	×	○	6											×								2月25日																						
	後期	×	×	×	○	×	○	14																			3月12日																						
文学部	前期	○	×	×	×	×	○	6																			×								2月25日														
	後期	×	×	×	○	×	○	17																											3月12日														
理学部	前期	○	×	×	×	×	○	6																											×	×	×	×	なし	×			2月25日						
	後期	○ 注1	×	○ 注2	×	×	○	17																																			3月12日						
工学部	前期	○	×	×	×	×	○	6	×																																								2月25日
	後期	○	×	○ 注3	×	×	○	17 注4																																									3月12日
医学部 医学科	前期	○	×	○	×	×	○	—		×																																							2月25日 ・26日
医学部 看護学科	前期	○	×	×	×	×	○	6																																									2月25日
生活科学部	前期	○	×	×	×	×	○	6											2月25日																														

注1 化学科を除く。

注2 化学科のみ。

注3 化学バイオ工学科のみ。

注4 化学バイオ工学科は10倍。

注5 医学部医学科が指定する大学入試センター試験の教科・科目の成績の総点(※)が900点満点中650点以上の者を第1段階選抜合格者とします。

※ 素点を用います。ただし、英語は250点満点(筆記試験200点満点、リスニングテスト50点満点)、他の外国語は200点満点のため、英語を選択した場合は200点満点に換算します。また、リスニングテストを免除された者については筆記試験の成績をそのまま用います。

3 平成30年度入試方法等

(その他入試)

学部・学科別	入試方法等	推薦入試								国際バカロレア	帰国生徒	社会人	学士・社会人	備考
		試験を課す	個別学力検査を免除する	実技試験等				自己推薦書、志望理由書等の提出を求める	推薦入試募集人員					
				実技試験を課す	口述を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングを課す							
商学部	商学 公共経営学科	○	×	×	○	×	×	○	6			×	出願期間 1月15日～19日	
経済学部	経済学科	×	×	×	×	×	×	×	なし	×	×	○	出願期間 1月15日～19日	
法学部	法学科	×	×	×	×	×	×	×	なし				—	
文学部	哲学歴史学科 人間行動学科 言語文化学科	×	×	×	×	×	×	×	なし	○	○		出願期間10月20日～26日	
理学部	数学科	×	×	×	×	×	×	×	なし				出願期間11月1日～7日	
	物理学科								3					
	化学科	×	○	×	○	○	×	○	5					
	生物学科								6					
	地球学科								3			×		
工学部	機械工学科								1				出願期間11月1日～7日	
	電子・物理工学科								1					
	電気情報工学科	×	○	×	○	○	×	○	1	×	×			
	化学バイオ工学科								1					
	建築学科								1		×			
	都市学科								1					
	建築学科 (指定校制推薦)	×	○	×	○	×	×	○	6					
医学部	医学科	×	×	×	×	×	×	×	なし				—	
	看護学科	○	×	×	×	×	×	○	10			○	推薦 出願期間 12月14日～20日 学士・社会人 出願期間 1月15日～19日	
生活科学部	食品栄養科学科								8				国際バカロレア 出願期間 10月20日～26日 推薦 出願期間 12月14日～20日	
	居住環境学科	○	×	×	○注	×	×	○	8	○	×			
	人間福祉学科								12					

注 大学入試センター試験の成績、志望理由書等の内容の結果により指定した者のみ実施

4 一般入試について

(1) 募集人員

学部・学科、日程別募集人員は、9ページのとおりです。

(2) 出願資格

本学に出願できる者は、「(3)選抜方法等の⑦」に定める大学入試センター試験の教科・科目を受験し、次の各号のいずれかに該当する者です。

- ① 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程により12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（ただし、12年の課程を要しない国からの出願資格については事前に相談してください。）
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者
- ⑥ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成30年3月31日までに合格見込みの者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- ⑦ 相当の年齢に達している者で、本学において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（ただし、事前協議を行いますので、原則として平成29年9月8日（金）までに大学運営本部入試室に申し出てください。）

(3) 選抜方法等

- ① 入学者の選抜は、平成30年度大学入試センター試験と個別学力検査等（口述試験を含む）の成績及び調査書等を総合して行います。具体的な教科・科目については別表1（17～22ページ）のとおりです。なお、経済学部後期日程は別表2（25ページ）のとおりです。また、医学部医学科前期日程は別表3（26ページ）のとおりです。
- ② 商学部、経済学部、法学部、文学部は、学部単位で募集します。理学部、工学部、医学部、生活科学部は、学科単位で募集します。
- ③ 理学部前期日程の全学科については第3志望までの学科等を志望することができます。
- ④ 工学部前期日程の全学科及び工学部後期日程の化学バイオ工学科を除く5学科については、第2志望まで学科を志望することができます。
- ⑤ 2段階選抜は、医学部医学科を除く各学部及び試験日程別に11ページ表中の倍率を超えた場合に実施することがあります。ただし、商学部・経済学部の後期日程では実施しません。
- ⑥ 医学部医学科の2段階選抜は、志願者数にかかわらず大学入試センター試験の成績により実施します。詳細は、11ページの「注5」を参照してください。
- ⑦ 大学入試センター試験及び個別学力検査等の実施教科・科目、配点等は、別表1のとおりですが、大学入試センター試験については、以下の事項に注意してください。
 - ア 大学入試センター試験の成績は、平成30年度の成績を利用します。
 - イ **大学入試センター試験で学部・学科・日程別に指定する教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は失格となり、個別学力検査等は受験できませんので、十分注意してください。**
 - ウ 大学入試センター試験の地理歴史・公民、理科において、受験科目を1科目と指定しているところを複数科目受験した場合の扱いは、24ページの「注2・注3」を確認してください。

エ 大学入試センター試験の「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、当該科目の履修者等の受験制限がありますので、24 ページの「注1」を必ず確認してください。なお、受験資格者に該当しない者が、これらの科目を受験した場合は、数学を受験していないことになります。このため、失格となり個別学力検査等は受験できませんので、十分注意してください。

(4) 出願に際しての注意事項

- ① 本学の前期日程と他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）の前期日程との併願はできません（本学の他学部も含む）。本学の後期日程と他の国公立大学の後期日程との併願はできません（本学の他学部も含む）。
- ② 本学の前期日程と本学を含む国公立大学の後期日程、本学の後期日程と本学を含む国公立大学の前期日程は併願できます。公立大学中期日程を実施している場合についても併願できます。
- ③ 前期日程試験に合格し入学手続を行った者は、公立大学中期日程及び本学又は他の国公立大学の後期日程試験を受験しても合格判定の対象となりません。
- ④ 国公立大学の推薦入試合格者及びAO入試合格者は、当該大学・学部の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、本学個別学力検査等を受験しても合格者となりません。
- ⑤ 本学の専門学科・総合学科卒業生入試の受験者は、本学の後期日程も併願することができます。また、本学で実施している大学入試センター試験を利用する推薦入試の受験者は、本学の前期日程・後期日程も併願することができます。この場合、いずれも大学入試センター試験の必要教科・科目を受験しておく必要があります。ただし、専門学科・総合学科卒業生入試に合格した者については上記③と、また、推薦入試に合格した者は上記④と、同じ扱いとなります。

(5) 入学者選抜実施日程について

		日 程	備 考
出願期間		平成 30 年 1 月 22 日 (月) ～ 1 月 31 日 (水)	前期・後期日程共通 【郵送のみ、1月31日(水) 午後5時必着】
前期日程	個別学力検査等 実施日	平成 30 年 2 月 25 日 (日) 平成 30 年 2 月 26 日 (月)	2 月 26 日(月)は、医学部医学科のみ 面接を実施。
	合格発表日	平成 30 年 3 月 9 日 (金)	
	入学手続指定日	平成 30 年 3 月 14 日 (水)	
後期日程	個別学力検査等 実施日	平成 30 年 3 月 12 日 (月)	商学部、経済学部は、個別学力検査 等を課しません。
	合格発表日	平成 30 年 3 月 22 日 (木)	
	入学手続指定日	平成 30 年 3 月 27 日 (火)	

(6) 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願について


障がい等を有する等の理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する場合は、平成29年12月14日（木）までに、大学運営本部入試室に申し出て相談してください。12月15日（金）以降においても可能な限り対応いたしますが、できる限り12月14日（木）までに申し出てください。

(7) 学生募集要項（出願書類を含む）について

平成30年度「学生募集要項（一般入試）」は、11月下旬から配付します。

【テレメールを利用して請求する場合】

① 本学ホームページから請求する場合

本学のホームページから直接、テレメールによる資料請求ができます。詳しくは、大阪市立大学ホームページ（<http://www.osaka-cu.ac.jp/>）をご覧ください。

② インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は自動音声応答電話で請求する場合

ア 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話)	http://telemail.jp	バーコードからアクセスした場合は資料請求番号の入力は不要。 
自動音声応答電話	IP 電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※IP 電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約12円です。 ※住所氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。	

イ 請求を希望する資料請求番号（6桁）をプッシュ又は入力してください。

資料名	資料請求番号	料金（送料含む）	発送開始日
大学案内	565052	215円	8月上旬(予定)
一般入試学生募集要項	585052	250円	12月上旬(予定)

ウ あとはガイダンスに従って登録してください。

(注意事項)

*テレメールのパスワードをお持ちの方はお届け先の登録は不要です。

*資料は発送日の翌日・翌々日に届きます。夕方までの受付は当日発送となりますが、夕方以降は翌日発送となります。なお、お届け先が北海道の一部・沖縄・離島などの場合は3日以上かかります。

*発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。

*料金はお届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上お支払いください。なお、支払い手数料が別途必要になります。また、料金は資料の重量により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

※ テレメールを利用するの請求については、下記へお問い合わせください。

テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102 (9:30~18:00)

【大学情報センターの「モバっちょ」を利用して請求する場合】

① 携帯電話、スマートフォンを利用して請求する場合

資料名	送料・手数料	発送開始日	バーコード
大学案内	200円	8月上旬(予定)	
一般入試学生募集要項	200円	12月上旬(予定)	
一般入試学生募集要項+大学案内	300円	12月上旬(予定)	

② パソコンを利用して請求する場合

【URL】<http://djc-mb.jp/osaka-cu3/>

【料金の支払い方法】

ア 請求時払い

スマホ・携帯払い※、クレジットカード決済が利用できます(支払い手数料が別途50円必要)。

※ スマホ・携帯払い、とは、資料請求料金を携帯電話・スマートフォンの通話料金と一緒に支払いいただける支払い方法です。ただし、携帯電話・スマートフォンの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒に支払いができない場合があります。その場合は、クレジットカード払い、又はコンビニ後払いを選択してください。

イ コンビニ後払い

資料到着後、コンビニエンスストアでお支払いください(支払手数料が別途126円必要)。なお、パソコンを利用して請求する場合の支払い方法は、クレジットカード決済、コンビニ後払いのみとなります。

※「モバっちょ」を利用しての請求については、下記へお問い合わせください。

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター
TEL 050-3540-5005 (平日 10:00~18:00)

【直接本学に請求する場合】

① 直接大学の窓口で受領する場合

大阪市立大学 大学運営本部 入試室(学生サポートセンター2階)までお越しください。
(平日 9:00~17:15)

住所：大阪市住吉区杉本3丁目3番138号

TEL：06-6605-2141 FAX：06-6605-2133

② 郵便で請求する場合

ア 請求する封筒の表に「平成30年度学部一般学生募集要項請求」と「赤色」で書き、裏には差出人の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記載

イ 返信用封筒(封筒の表に「ゆうメール」と「赤色」で記載のうえ、300円分の返信用切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記した角形2号：24.0cm × 33.2cm)を封入

ウ 請求先：〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
大阪市立大学 大学運営本部入試室
TEL：06-6605-2141 FAX：06-6605-2133

大学入試センター試験及び個別学力検査等の教科・科目・配点

別表1

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、23・24ページに記載があります。

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査 等の区分・ 日程		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等						その他の 入試方法 等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	公民	数学	理科	外国語	論文	口述		配点 合計
商学部 235人 前期 198 後期 25 専門・総合 6 推薦 6	前期 2月25日	国・ 地歴・ 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B、現社、倫・政経から2 (2科目のうち1科目は必ず世B、日B、地理B から選択すること。2科目とも選択することも可) 数I・数Aと簿、情報から1(注1) 物基、化基、生基、地学から2又は 物、化、生、地学から1(注2) 英、独、仏、中、韓から1(注4) [5教科7又は8科目]	国 語総合・現代文B 数I・数A・数B(注5) [英]を必須として、問題の一部について、 [英]、[独]、[仏]、[中]、「韓・朝」から1科目 選択(注6)	6倍	センター試験	100	100	100	50	150				500
						個別学力検査	160	170							
	後期			課さない。		計	260	100	270	50	320			1000	
		国 数 外	国 数I・数Aと 数II・数B、簿、情報から1(注1) 英、独、仏、中、韓から1(注4)			センター試験	200		200	200				600	
		国 数 外				個別学力検査									
						計	200		200	200				600	
経済学部 220人 前期 170 後期 45 [高得点 30 ユニーク 15] 社会人 5	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B、 現社、倫・政経から2 (2科目のうち1科目は必ず世B、日B、地理B から選択すること。2科目とも選択することも可) 数I・数Aと簿、情報から1(注1) 物基、化基、生基、地学から2又は 物、化、生、地学から1(注2) 英、独、仏、中、韓から1(注4)	国 語総合・現代文B 数I・数A・数B(注5) [英]を必須として、問題の一部について、 [英]、[独]、[仏]、[中]、「韓・朝」から1科目 選択(注6)	6倍	センター試験	100	100	100	50	100			450	
						個別学力検査	150	150							
						計	250	100	250	50	250			900	
		国 数 理 外		課さない。		センター試験	(注9)	100	(注9)	50	(注9)			550	
						個別学力検査									
						計	(注9)	100	(注9)	50	(注9)			550	
法学部 165人 前期 145 後期 20	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B、 現社、倫・政経から2 (2科目のうち1科目は必ず世B、日B、地理B から選択すること。2科目とも選択することも可) 数I・数Aと簿、情報から1(注1) 物基、化基、生基、地学から2又は 物、化、生、地学から1(注2) 英、独、仏、中、韓から1(注4)	国 語総合・現代文B 数I・数A・数B(注5) [英]を必須として、問題の一部について、 [英]、[独]、[仏]、[中]、「韓・朝」から1科目 選択(注6)	6倍	センター試験	100	100	100	50	100			450	
						個別学力検査									
						計	100	100	100	50	100			450	
		国 数 理 外		課さない。		センター試験	100	100	100	50	100			450	
						個別学力検査									
						計	100	100	100	50	100			450	
文学部 155人 前期 125 後期 30 婦国生徒 国際バカロレア	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B、 現社、倫・政経から2 (2科目のうち1科目は必ず世B、日B、地理B から選択すること。2科目とも選択することも可) 数I・数Aと簿、情報から1(注1) 物基、化基、生基、地学から2又は 物、化、生、地学から1(注2) 英、独、仏、中、韓から1(注4)	国 語総合・現代文B・古典B [英]を必須として、問題の一部について、 [英]、[独]、[仏]、[中]、「韓・朝」から1科目 選択(注6)	6倍	センター試験	100	100	100	50	100			450	
						個別学力検査	200								
						計	300	100	100	50	300			850	
		国 数 理 外		論文 法学・政治学の勉強に必要な適性と 能力をみる		センター試験	40	40	40	20	40			180	
						個別学力検査					300			300	
						計	40	40	40	20	40	300		480	
		国 地歴・ 公民 数 理 外		論文 与えられた文章に関して自己の見解を 論述する形式のもの		センター試験	100	100	100	50	100			450	
						個別学力検査	200				200			400	
						計	300	100	100	50	300			850	
		国 数 理 外				センター試験	100	100	100	50	100			450	
						個別学力検査									
						計	100	100	100	50	100	400		850	

大学入試センター試験及び個別学力検査等の教科・科目・配点

別表1

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、23・24ページに記載があります。

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査 等の区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	論文	配点 合計	その他の 入試方法 等	
		教科	科目等	教科	科目等											
理学部 24人 前期 後期	前期 2月25日	国 地歴・ 公民	世A, 世B, 日A, 日B, []から1 (注3) 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数 数I・数Aと 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) [5教科7科目]	数 数I・数II・数III・数A・数B (注5) 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から2 (注7) [英]を必須として, 問題の一部について, [英], [独], [仏], [中], [韓・朝]から1科目 選択 (注6)	6倍	センター試験	100	50 (注1)	100	100	100	100	450		
																数 数I・数II・数III・数A・数B (注5)
148人 前期102 後期29 推薦17	後期 3月12日	数 外	数I・数Aと 数II・数B, 簿, 情報から1 (注1) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) [2教科3科目]	数 数I・数II・数III・数A・数B (注5)	17倍	センター試験	100	50 (注1)	200	300	300	300	500	1000		
物理学科 32人 前期 後期 推薦3	前期 2月25日	国 地歴・ 公民	世A, 世B, 日A, 日B, []から1 (注3) 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数 数I・数Aと 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) [5教科7科目]	数 数I・数II・数III・数A・数B (注5) 物基・物と 化基・化, 生基・生, 地基・地学から1 (注7) [英]を必須として, 問題の一部について, [英], [独], [仏], [中], [韓・朝]から1科目 選択 (注6)	6倍	センター試験	100	50 (注1)	100	100	100	100	450	推薦入試	
																数 数I・数II・数III・数A・数B (注5)
化学科 37人 前期 後期 推薦5	前期 2月25日	国 地歴・ 公民	世A, 世B, 日A, 日B, []から1 (注3) 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数 数I・数Aと 数II・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) [3教科5科目]	数 数I・数II・数III・数A・数B (注5) 物基・物 (注7)	17倍	センター試験	100	50 (注1)	100	100	100	100	450	推薦入試	
																数 数I・数II・数III・数A・数B (注5)
	後期 3月12日	数 外	数I・数Aと 数II・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物と 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) [5教科7科目]	数 数I・数II・数III・数A・数B (注5) 物基・物 (注7)	6倍	センター試験	100	50 (注1)	200	300	300	200	200	800		
																数 数I・数II・数III・数A・数B (注5)
	後期 3月12日	数 外	数I・数Aと 数II・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生, 地学から1 (注3) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) [3教科4科目]	数 数I・数II・数III・数A・数B (注5) 物基・物と 化基・化, 生基・生, 地基・地学から1 (注7) [英]を必須として, 問題の一部について, [英], [独], [仏], [中], [韓・朝]から1科目 選択 (注6)	17倍	センター試験	100	50 (注1)	200	300	300	200	200	700		
																数 数I・数II・数III・数A・数B (注5)
		その他	口述 [化基・化]を中心とする基礎的事項につ いて口頭試問する形式のもの			センター試験			200	300	300	200	200	300	1000	

大学入試センター試験及び個別学力検査等の教科・科目・科目名、配点

別表1

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、23・24ページに記載があります。

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の入試方法等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	論文		口述	配点	合計
理学部 生物学科 28人 前期 後期 推薦 6	前期 2月25日	国 地歴・公民 数 理 外	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数Aと数II・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔5教科7科目〕	教 理 外	数I・数II・数III・数A・数B (注5) 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から2 (注7) 〔英〕を必須として, 問題の一部について, 〔英〕, 〔独〕, 〔仏〕, 〔中〕, 〔韓・朝〕から1科目 選択 (注6)	センター試験	100	(注11) 50	100	100	100	100			450	推薦入試
						計	100	(注11) 50	300	300	200	200	950			
						センター試験			200	200	200		600			
地球学科 18人 前期 後期 推薦 3	後期 3月12日	国 地歴・公民 数 理 外	数I・数Aと数II・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生, 地学から1 (注3) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔3教科4科目〕	理 外	生基・生 (注7)	センター試験			200	200	200			600	推薦入試	
						個別学力検査				400		400				
						計			200	600	200	1000				
理学部	前期 2月25日	国 地歴・公民 数 理 外	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数Aと数II・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔5教科7科目〕	数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B (注5) 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から2 (注7) 〔英〕を必須として, 問題の一部について, 〔英〕, 〔独〕, 〔仏〕, 〔中〕, 〔韓・朝〕から1科目 選択 (注6)	センター試験	100	(注11) 50	100	100	100			450	推薦入試	
						個別学力検査				400		400				
						計	100	(注11) 50	300	300	200	950				
理学部	後期 3月12日	国 地歴・公民 数 理 外	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数Aと数II・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生, 地学から1 (注3) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔5教科6科目〕	理 外	地基・地学 (注7)	センター試験	50	(注11) 50	100	100	100			400	推薦入試	
						個別学力検査				400		400				
						計	50	(注11) 50	100	500	100	800				
理科選択	前期 2月25日	国 地歴・公民 数 理 外	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数Aと数II・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔5教科7科目〕	数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B (注5) 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から2 (注7) 〔英〕を必須として, 問題の一部について, 〔英〕, 〔独〕, 〔仏〕, 〔中〕, 〔韓・朝〕から1科目 選択 (注6)	センター試験	100	(注11) 50	100	100	100			450	推薦入試	
						個別学力検査				200		500				
						計	100	(注11) 50	300	300	200	950				

大学入試センター試験及び個別学力検査等の教科・科目、配点

別表1

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、23・24ページに記載があります。

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の入試方法等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	公民	歴史	数学	理科	外国語		論文	口述	配点
工学部 286人 前期25 後期10 推薦1 推薦12	前期 2月25日	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注5) 物基・物と 化基・化 (注7) [英]を必須として, 問題の一部について, [英], [独], [仏], [中], [韓・朝]から1科目 選択 (注6)	センター試験	100	(注1) 40	80	80	100				400	推薦入試
		地歴・公民		数		個別学力検査			250		150				600	
		数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) [5教科7科目]	理		計	100	(注1) 40	330	280	250				1000	
電子・物理 工学部 42人 前期35 後期6 推薦1	後期 3月12日	理	物と 化 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) [2教科3科目]	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注5)	センター試験				100				200		推薦入試
		地歴・公民		数		個別学力検査			200						200	
		数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) [5教科7科目]	理		計			200	100	100				400	
電気情報 工学部 48人 前期39 後期8 推薦1	前期 2月25日	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注5) 物基・物と 化基・化 (注7) [英]を必須として, 問題の一部について, [英], [独], [仏], [中], [韓・朝]から1科目 選択 (注6)	センター試験	100	(注1) 40	80	80	100				400	推薦入試
		地歴・公民		数		個別学力検査			200						200	
		数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) [5教科7科目]	理		計	100	(注1) 40	330	280	250				1000	
	後期 3月12日	理	物と 化 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) [2教科3科目]	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注5)	センター試験				100				200		推薦入試
		地歴・公民		数		個別学力検査			200						200	
		数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) [5教科7科目]	理		計			200	100	100				400	

大学入試センター試験及び個別学力検査等の教科・科目・配点

別表1

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、23・24ページに記載があります。

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の入試方法等				
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	公民	地歴	数学	理科		外国語	論文	口述	配点合計
工学部 化学バイオ 工学科 56人 前期 45 後期 10 推薦 1	前期 2月25日	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数Ⅰ・数Ⅲ・数A・数B (注5) 物基・物と 化基・化 (注7) 「英」を必須として, 問題の一部について, 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓・朝」から1科目 選択 (注6)	数	数Ⅰ・数Ⅲ・数A・数B (注5)	100	(注11) 40	80	80	100				400	推薦入試
		理	数Ⅰ・数Aと 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔5教科7科目〕	外	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 生から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔4教科6科目〕	計	100	(注11) 40	330	280	250	1000				1000	
建築学科 34人 前期 21 後期 6 推薦 7	前期 2月25日	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数Ⅰ・数Ⅲ・数A・数B (注5) 物基・物と 化基・化 (注7) 「英」を必須として, 問題の一部について, 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓・朝」から1科目 選択 (注6)	数	数Ⅰ・数Ⅲ・数A・数B (注5)	100	(注11) 40	80	80	100				400	推薦入試
		理	数Ⅰ・数Aと 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔5教科7科目〕	外	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔5教科7科目〕	計	100	(注11) 40	330	280	250	1000				1000	
都市学科 50人 前期 40 後期 9 推薦 1	前期 2月25日	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数Ⅰ・数Ⅲ・数A・数B (注5) 物基・物と 化基・化 (注7) 「英」を必須として, 問題の一部について, 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓・朝」から1科目 選択 (注6)	数	数Ⅰ・数Ⅲ・数A・数B (注5)	100	(注11) 40	80	80	100				400	推薦入試
		理	数Ⅰ・数Aと 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔5教科7科目〕	外	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔5教科7科目〕	計	100	(注11) 40	330	280	250	1000				1000	
	後期 3月12日	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数Ⅰ・数Ⅲ・数A・数B (注5) 物基・物と 化基・化 (注7) 「英」を必須として, 問題の一部について, 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓・朝」から1科目 選択 (注6)	数	数Ⅰ・数Ⅲ・数A・数B (注5)	100	(注11) 40	80	80	100				400	推薦入試
		理	数Ⅰ・数Aと 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔5教科7科目〕	外	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔5教科7科目〕	計	100	(注11) 40	330	280	250	1000				1000	

大学入試センター試験及び個別学力検査等の教科・科目・科目名、配点

別表1

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、23・24ページに記載があります。

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査 等の区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階 選抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の 入試方法 等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等		試験の区分	国語	歴史・ 公民	数学	理科	外国語	論文	面接	配点 合計			
医学部 150人 前期135 推薦10 学士・ 社会人5	前期 2月25日 2月26日	国 地歴・ 公民 教	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 数I・数Aと 数II・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔5教科7科目〕	教 理 外 その他	数I・数II・数III・数A・数B (注5) 物基・物, 化基・化, 生基・生から2 (注7) 英 (注6) 面接 医師としての適性について面接で評価を行 い、学力検査の成績と総合して合格を判定 する。 ※面接にて医師の適性をなくと判断された 場合は学力検査の成績の如何に関わら ず不合格になることがある。	センター試験 試験の得 点が650点 以上 (注12)	100	50	200	200	100			650	◎	800	1450	推薦入試 国際 バカロレア
							100	50	300	300	200			800				
							100	50	500	500	300			1450				
看護学科 55人 前期40 推薦10 学士・社会人5	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 数I・数Aと 数II・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生から1 (注3) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔5教科7科目〕	国 教 外	国語総合・現代文B 数I・数II・数A・数B (注5) 〔注8〕 「英」を必須として、問題の一部について、 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓・朝」から1科目 選択 (注6)	6倍	100	50	100	100	100			450		300	750	推薦入試 学士・ 社会人
							100	50	150	150	100			300				
							100	50	100	100	250			750				
生活科学部 123人 前期95 推薦28 国際 バカロレア 若干名	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 数I・数Aと 数II・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物, 化, 生から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔5教科7科目〕	教 理 外	数I・数II・数A・数B (注5) 化基・化, 生基・生から1 (注7) 「英」を必須として、問題の一部について、 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓・朝」から1科目 選択 (注6)	6倍	100	100	100	100	100			500		450	950	推薦入試 国際 バカロレア
							100	100	150	150	100			450				
							100	100	250	250	250			950				
居住環境学科 43人 前期35 推薦8	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 数I・数Aと 数II・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物基, 化基, 生基, 地学から2又は 物, 化, 生, 地学から1 (注2) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔5教科6又は7科目〕	教 理 外	数I・数II・数A・数B (注5) 「英」を必須として、問題の一部について、 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓・朝」から1科目 選択 (注6)	6倍	100	100	100	100	100			500		300	800	推薦入試 国際 バカロレア
							100	100	150	150	100			300				
							100	100	250	250	250			800				
人間福祉学科 45人 前期33 推薦12	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 数I・数Aと 数II・数B, 簿, 情報から1 (注1) 物基, 化基, 生基, 地学から2又は 物, 化, 生, 地学から1 (注2) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (注4) 〔5教科6又は7科目〕	国 教 外	国語総合・現代文B 数I・数II・数A・数B (注5) 〔注8〕 「英」を必須として、問題の一部について、 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓・朝」から1科目 選択 (注6)	6倍	100	100	100	100	100			500		300	800	推薦入試 国際 バカロレア
							100	100	150	150	100			300				
							100	100	100	100	250			800				

別表1の教科・科目名の表記及び注意事項等について

1 大学入試センター試験の利用教科・科目名は次のように略しています。

国語 → 国

「国語」 → 「国」

地理歴史・公民 → 地歴・公民

「世界史A」 → 「世A」、「世界史B」 → 「世B」、「日本史A」 → 「日A」、

「日本史B」 → 「日B」、「地理A」 → 「地理A」、「地理B」 → 「地理B」、

「現代社会」 → 「現社」、「倫理」 → 「倫」、「政治・経済」 → 「政経」、

「倫理、政治・経済」 → 「倫・政経」

数学 → 数

「数学Ⅰ」 → 「数Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」 → 「数Ⅰ・数A」、

「数学Ⅱ」 → 「数Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」 → 「数Ⅱ・数B」、

「簿記・会計」 → 「簿」、「情報関係基礎」 → 「情報」

理科 → 理

「物理基礎」 → 「物基」、「化学基礎」 → 「化基」、「生物基礎」 → 「生基」、「地学基礎」 → 「地基」、

「物理」 → 「物」、「化学」 → 「化」、「生物」 → 「生」、「地学」 → 「地学」

外国語 → 外

「英語」 → 「英」、「ドイツ語」 → 「独」、「フランス語」 → 「仏」、

「中国語」 → 「中」、「韓国語」 → 「韓」

※なお、教科については「地理歴史」、「公民」を合わせて1教科として取り扱います。

2 大学入試センター試験の利用方法については、次の例のように利用科目名、利用方法を示しています。

【例】

国のみを指定 → 国

世B、日B、地理Bから1科目を選択 → 世B、日B、地理Bから1

地歴・公民から1科目を選択 → 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1
現社、倫、政経、倫・政経

数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数Bの2科目を選択 → 数Ⅰ・数Aと
数Ⅱ・数B

理科から2科目を選択 → 物、化、生、地学から2

英語のみ指定 → 英

3 本学が実施する個別学力検査の出題教科・科目名は、上記1と同様に略すほか、次のように略しています。

「数学Ⅲ」 → 「数Ⅲ」、「数学A」 → 「数A」、「数学B」 → 「数B」、

「韓国・朝鮮語」 → 「韓・朝」

4 教科・科目、配点欄の注意事項について

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

注1 数学の「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校で当該科目（「情報関係基礎」は、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目です）を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限ります。

注2 理科において、基礎を付した科目2科目と基礎を付していない科目1科目のいずれも受験した場合は、基礎を付した科目2科目の合計点と基礎を付していない科目1科目の得点のいずれか高得点の方を用います。なお、この場合、同一名称科目を付した科目の選択を認めます。また、基礎を付していない科目2科目を選択した場合は、第1解答科目の得点を用います。

注3 大学入試センター試験の「地理歴史・公民」、「理科（基礎を付さない科目）」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を用います。

注4 外国語の「英語」の配点には、リスニングを含みます。筆記とリスニングの配点比率は、8：2とします。

大学入試センター試験の外国語の配点（素点）において、英語は250点満点（筆記試験200点満点、リスニング50点満点）、他の外国語については200点満点であるので、英語を選択した場合は、200点満点に換算したうえで、各学部の配点に合わせて換算します。また、リスニングを免除された者については、「英語」の筆記試験の結果のみで換算します。

【個別学力検査等】欄

注5 数学

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲からの出題とします。
数学Bは「数列」・「ベクトル」を出題範囲とします。

注6 外国語

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」を出題範囲とします。問題の一部については、「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」から1科目選択となります。

外国語の選択解答部分は、試験会場で選択できます。ただし、医学部医学科については、選択解答部分も英語が必須であり、他の外国語の選択はできません。

注7 理科

「物理基礎・物理」は物理基礎及び物理の全範囲からの出題とします。
「化学基礎・化学」は化学基礎及び化学の全範囲からの出題とします。
「生物基礎・生物」は生物基礎及び生物の全範囲からの出題とします。
「地学基礎・地学」は地学基礎及び地学の全範囲からの出題とします。
必須科目を除き選択解答科目は、試験会場で選択できます。

注8 医学部看護学科及び生活科学部人間福祉学科については、「国語」及び「数学」の選択解答は、出願時に教科を選択する必要があります。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

注9 経済学部後期日程の高得点選抜において、大学入試センター試験の国・数・外の3教科のうち、最高得点の教科の配点を200点とし、その他の2教科の配点を各100点とします。

注10 選択教科の配点を表しています。

注11 「地理・歴史」、「公民」のいずれか1教科の配点を表しています。

注12 医学部医学科が指定する大学入試センター試験の教科・科目の成績の総点(※)が900点満点中650点以上の者を第1段階選抜合格者とします。

※素点を用います。ただし、英語は250点満点(筆記試験200点満点、リスニングテスト50点満点)、他の外国語は200点満点のため、英語を選択した場合は200点満点に換算します。また、リスニングを免除された者については筆記試験の成績をそのまま用います。

経済学部後期日程選抜方法等

募集人員		45名〔高得点選抜30名、ユニーク選抜15名〕
出願時にいずれかの選抜方法を選択	高得点選抜	<p>(1) 個別学力検査は課しません。</p> <p>(2) 大学入試センター試験（17 ページ参照）で優秀な成績を修めた者から30名を選抜します。</p> <p>(3) 2段階選抜は行いません。</p>
	ユニーク選抜	<p>(1) ユニーク選抜志願者は自己推薦書等（下記の備考を参照）を提出してください。</p> <p>(2) 個別学力検査は課しません。</p> <p>(3) 高校生活等で優れた活動や成果を修め、かつ大学入試センター試験（17 ページ参照）において一定以上の学力が認められた者について、調査書・自己推薦書・特別活動要覧等の書類を総合的に判断し、15名選抜します。</p> <p>(4) 2段階選抜は行いません。</p>
出願資格		「4（2）出願資格」に同じです。（13 ページ参照）
備 考		<p>(1) 調査書の「特別活動の記録」欄には「特技・取得資格等」を記述し、「備考」欄には学校生活以外の場における諸活動等を記述してください。たとえば、サークル活動で大変優れた成績を修めた、個人的に特別な特技・資格を有しているなど、できるだけユニークさを訴えるものを記述してください。 取得資格に関しては、資格の正式名称と主催団体を記述してください。</p> <p>(2) 自己推薦書には、学業、特別活動、特技などにどのように熱心に取り組んだかを、その経歴、成果について、特に強調したいところを中心にできる限り具体的に記述してください。</p> <p>(3) 特別活動要覧には、特筆すべき文化、体育活動及び高等学校等における学業、特別活動（部活動・生徒会・学校行事、ホームルーム等）、特技などについて、その経歴、成果（受賞、資格取得、作品発表）をまとめて記述してください。</p> <p>(4) 関係者推薦書（任意提出）には、志願者の学業、特別活動、取得資格及び特技等について、客観的に評価・判断できる関係者が記述してください。本人には十分に把握しきれない点、もしくは説明が困難な活動等を紹介してください。</p> <p>(5) 資格取得や検定などに合格している場合には、合格証書のコピーあるいは合格証明書を添付してください。また、調査書、自己推薦書あるいは関係者推薦書に記された活動実績を証明する資料を可能な限り添付してください。なお、提出された書類や資料はお返ししません。</p> <p>(6) ユニーク選抜にかかる自己推薦書等に不明の点があれば、その確認のため出願者と面談することがあります。</p>

※本選抜に関するお問い合わせは、学生サポートセンター経済学部教務担当（06-6605-2251）までお願いします。

別表 3

医学部医学科前期日程選抜方法等

(詳細は学生募集要項をご確認ください。なお、後期日程の募集は行いません。)

以下の項目以外は、「一般入試」に準じていますので、必ず確認をしてください。

1. 募集人員 95名 (一般枠 80名 地域医療枠 10名 大阪府指定医療枠 5名)	
一般枠	<ul style="list-style-type: none"> 一般枠として80名を募集します。 卒業後の進路等、特別な義務・拘束はありません。
地域医療枠	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療枠として10名を募集します。 入学後の医学科教育カリキュラムは一般枠と同様です。 卒業後の必修プログラム 2年間の初期臨床研修を行った後、本学医学部の各診療科に所属し、3年間の後期研修及びその後4年間の実践研修により、将来の大阪の医療において指導的・中核的役割を担える医師の育成を目指します。 このプログラムを実施する医療機関は、大阪市立大学医学部附属病院をはじめとして、大阪市及び大阪府における公的病院・地域中核病院です。 修学資金等貸付制度はありません。
大阪府指定医療枠	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府指定医療枠として5名を募集します。(出願には制限があります。「2. 出願資格」をご確認ください。) 入学後の医学科教育カリキュラムは一般枠と同様です。 大阪府から地域医療の確保のための修学資金が貸与されます(月額10万円)。 卒業後の必修プログラム 卒後9年間(臨床研修期間を含む)、大阪府内の病院に勤務することとなります。 うち5年間は、次の①～④のいずれかの診療業務を選択していただきます。 ①大阪府保健医療計画において周産期医療機能を重点化すると位置づけた医療機関の産婦人(産)科・小児(新生児)科、②小児科を協力科とする救急告示病院の小児科、③救命救急センター、④人口当たりの病院従事医師数が大阪府全体の数値を下回る二次医療圏に所在する公立病院等における診療業務。 なお、大阪府地域医療確保修学資金等貸与要綱に基づき、本学を卒業した後、1年6月以内に医師免許を取得し、上記のとおり9年間(修学資金の貸与を受けた期間の1.5倍の期間)診療に従事した場合、借り受けた修学資金及び利息の返還が免除されます。 <修学資金等貸与制度に関する問合せ先> 大阪府健康医療部保健医療室医療対策課医師・看護職員確保グループ 〒540-8570 大阪府中央区大手前2丁目 電話06-6944-6692 (http://www.pref.osaka.lg.jp/iryos/isikakuho/tiikiwaku.html)
2. 出願資格	
	<ul style="list-style-type: none"> 「4 (2) 出願資格」に同じです(13ページ参照)。 ただし、「大阪府指定医療枠」は志願者又は保護者が平成27年4月1日以前から引き続き大阪府内に住所(住民票があること)を有する者、もしくは大阪府内にある高等学校等(中等教育学校含む)を卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者に限ります。「一般枠」「地域医療枠」については、出身地及び出身高等学校等の所在地による出願制限はありません。 「地域医療枠」「大阪府指定医療枠」を志望する者は、卒業後の所定のプログラムにもとづく地域医療に従事することを確約できる者としします。 「大阪府指定医療枠」を志望する者は、「大阪府地域医療確保修学資金」の貸与を受ける意志のある者としします。
3. 出願書類	
	<p>「地域医療枠」「大阪府指定医療枠」を志望する者は、一般入試の出願書類に加え、本人及び保護者の同意も含めた誓約書及び出身高等学校長等からの推薦書を提出する必要があります。これらの誓約書・推薦書の提出の無い場合は、「地域医療枠」「大阪府指定医療枠」での出願を受け付けません。</p>
4. 選抜方法等	
	<ul style="list-style-type: none"> 第3志望まで志望することができます。ただし、「大阪府指定医療枠」については、上記出願資格に該当する者に限って志望することができます。 合否判定は、総合順位の高い順に、第1志望から優先して合格としします。第2・第3志望まで志望した受験者は、第1志望で合格とならなかった場合、第2・第3志望での合格の可能性があります。 ◎ 医師としての適性について面接で評価を行い、学力検査の成績と総合して合否を判定します。 ※ 面接にて医師の適性を欠くと判断された場合には学力検査の成績の如何に関わらず不合格になることがあります。 「地域医療枠」及び「大阪府指定医療枠」については、応募・選考状況により、合格発表数が募集人員に満たない場合があります。
5. お問い合わせ	
	<p>本選抜に関するお問い合わせは、医学部学務課(06-6645-3611)までお願いします。</p>

個別学力検査等時間割

1 前期日程

期日・教科等 学部・学科		平成 30 年 2 月 25 日 (日)			2 月 26 日(月)
商 学 部		国 語 (90 分)	外国語(100 分)	数 学 (90 分)	—
経 済 学 部					
法 学 部		国 語 (90 分)	外国語(100 分)	—	—
文 学 部		国 語(120 分)	外国語(100 分)	—	—
理 学 部		理 科(150 分)	外国語(100 分)	数 学 (120 分)	—
工 学 部					
医学部	医 学 科	理 科(150 分)	外国語(100 分)	数 学 (120 分)	面 接
	看 護 学 科	国 語 (90 分)	外国語(100 分)	数 学 (90 分)	—
生活科学部	食品栄養科学科	理 科 (90 分)	外国語(100 分)	数 学 (90 分)	—
	居住環境学科	—			
	人間福祉学科	国 語 (90 分)			

2 後期日程

期日・教科等 学部・学科		平成 30 年 3 月 12 日 (月)			
		教 科 等	試 験 時 間		
法 学 部		論 文	(150 分)		
文 学 部		論 文	(150 分)		
理 学 部	数 学 科	数 学	(150 分)		
	物 理 学 科	数学・理科			
	化 学 科	口 述	午 前	午 後	
	生 物 学 科	理 科	(90 分)		
	地 球 学 科	理 科	(150 分)		
工 学 部	機 械 工 学 科	数 学	(150 分)		
	電 子 ・ 物 理 工 学 科	数 学			
	電 気 情 報 工 学 科	数 学			
	化 学 バイオ工 学 科	数学・口述			午後 口 述
	建 築 学 科	数 学			
	都 市 学 科	数 学			

※ 試験会場、試験実施時間等については、11 月下旬発行の学生募集要項で発表します。

5 その他入試について

平成30年度入試において、下記の学部で推薦入試等を実施します。

なお、詳細については、各学生募集要項を確認してください。募集要項の請求方法は、この選抜要項の15～16ページの(7)を参照してください。

(1) 専門学科・総合学科卒業生入試（前期日程）の概要

学部・学科	募集人員	出願要件	選抜方法	備考
商学部	6名	次の(1)から(3)のすべての条件に該当する者 (1) 高等学校の総合学科又は専門高等学校に2年以上在籍し、商業に関する科目を20単位以上修得して卒業した者、又は平成30年3月に卒業見込みの者。普通科の生徒は受験できない。 (2) 平成30年度大学入試センター試験の所定の教科・科目を受験した者 (3) 簿記又は情報処理で次のいずれかに該当する者 ① 日本商工会議所簿記検定2級以上の合格者 ② (公財)全国商業高等学校協会簿記実務検定1級の合格者 ③ 経済産業省が認定する「情報処理技術者試験」の各試験区分のいずれかの合格者 ④ (公財)全国商業高等学校協会情報処理検定(プログラミング部門又はビジネス情報部門)1級の合格者	大学入試センター試験の成績と個別学力検査(国語総合・現代文B、外国語)の成績及び調査書の内容を総合して判定する。 ※大学入試センター試験の受験科目について 国語 「国語」(近代以降の文章)※「近代以降の文章」の点数のみを利用し、「古典(古文、漢文)」の点数は利用しない。 数学 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」から1科目選択と「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択の計2科目 外国語 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択(英語にはリスニングを含む) 3教科4科目	出願期間 平成30年 1月15日(月) ～1月19日(金) 選考期日 平成30年 2月25日(日) 合格者発表 平成30年 3月9日(金)

(2) 推薦入試の概要

学部・学科	募集人員	出願要件	選抜方法	備考
商学部	6名	次の(1)から(3)のすべての条件に該当する者 (1) 商業に関する学科又は総合学科を持つ高等学校において、当該の学科に2年以上在籍し、商業に関する科目を20単位以上修得して平成30年3月に卒業見込みの者。普通科の生徒は受験できない。 (2) 平成30年度大学入試センター試験の所定の教科・科目を受験した者 (3) 次の(A)と(B)の条件に該当し、合格した場合には必ず本学に入学することを確約できる者 (A) 次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者 (ア) 本人自身又は本人の保護者が、平成29年4月1日以前から引き続き大阪市内に住所(住民票があること)を有する者 (イ) 大阪市内の高等学校に在籍する者 (B) 次の(ア)と(イ)のすべての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できる者 (ア) 調査書の学習成績概評がAの者 (イ) 簿記又は情報処理で次のいずれかに該当する者 ① 日本商工会議所簿記検定2級以上の合格者 ② (公財)全国商業高等学校協会簿記実務検定1級の合格者 ③ 経済産業省が認定する「情報処理技術者試験」の各試験区分のいずれかの合格者 ④ (公財)全国商業高等学校協会情報処理検定(プログラミング部門又はビジネス情報部門)1級の合格者 ただし、1学校で推薦出来る人数は、6名までとする。	大学入試センター試験の成績と口述試験の成績及び調査書の内容を総合して判定する。 ※大学入試センター試験の受験科目について 国語 「国語」(近代以降の文章)※「近代以降の文章」の点数のみを利用し、「古典(古文、漢文)」の点数は利用しない。 数学 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」から1科目選択と「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択の計2科目 外国語 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択(英語にはリスニングを含む) 3教科4科目	出願期間 平成30年 1月15日(月) ～1月19日(金) 選考期日 平成30年 2月1日(木) 合格者発表 平成30年 2月6日(火)

学部・学科	募集人員		出願要件	選抜方法	備考
理学部 物理学科	計	3名	平成30年3月に卒業見込みで、志望学科に関連する科目において特に優れた適性と能力を有する者のうち、学校長が責任を持って推薦できる者で、出願資格Ⅰ、Ⅱ又はⅢに該当し、合格した場合には本学に入学することを確約できる者	大学入試センター試験を免除し、出願書類の内容及び選抜試験の成績を総合して判定する。	出願期間 平成29年 11月1日(水) ～11月7日(火) 選考期日 平成29年 11月18日(土)
	Ⅰ	(1名)			
	ⅠとⅡとⅢ	(2名)			
理学部 化学科	計	5名	○出願資格Ⅰ 大阪市立の高等学校に在学する者	(1) 小論文 化学を中心とする自然科学について論述を課す(英語の基礎学力を含む)。 (2) 口述 学習意欲、学習能力等について行う。	合格者発表 平成29年 11月29日(水)
	Ⅰ	(1名)	○出願資格Ⅱ 出願資格Ⅰ以外の者で、次の(1)(2)のいずれかに該当する者		
	ⅠとⅡ	(2名)	(1) 本人又は本人の保護者が、平成29年4月1日以前から引き続き大阪市内に住所(住民票があること)を有する者		
	ⅠとⅡとⅢ	(2名)	(2) 大阪市内の学校に在学する者		
理学部 生物学科	計	6名	○出願資格Ⅲ 出願資格Ⅰ、Ⅱ以外の者で、本人やその保護者の住所、学校所在地は限定されない	(1) 小論文 生物に関する基礎学力を問い、論述を課す(英語の基礎学力を含む)。 (2) 口述 学習意欲、学習能力等について行う。	
	Ⅰ	(2名)	※合格者の決定は、はじめに出願資格Ⅰより選抜し、次にⅠとⅡより選抜し、その次にⅠとⅡとⅢより選抜します(募集人員欄の()内は内数)。		
	ⅠとⅡとⅢ	(4名)	ただし、1学校で推薦出来る人数は、募集学科1学科につき2名までとする。		
理学部 地球学科	計	3名	平成30年3月卒業見込みの者で、次の(1)及び(2)に該当し、合格した場合には必ず本学に入学することを確約できる者 (1) 大阪府内に所在する高等学校で、工業、農業及びこれらに類する職業教育を主とする学科に在籍する者 なお 在籍学科により出願可能な学科に制限(詳細は募集要項参照のこと)があります。 (2) 高等学校長が責任をもって推薦できる者(推薦要件詳細は募集要項参照のこと) ただし、1つの高等学校で推薦できる人数は、募集学科1学科につき1名とする。同一人の複数学科への推薦は認めません。	(1) 小論文 「地球に関連する自然科学」・「英語」の基礎学力を問う。 (2) 口述 学習意欲、学習能力等について行う。	
	Ⅰ	(1名)			
	ⅠとⅡとⅢ	(2名)			
工学部 機械工学科 電子・物理工学科 電気情報工学科 化学バイオ工学科 建築学科 都市学科	各学科 1名 (計6名)		平成30年3月卒業見込みの者で、次の(1)及び(2)に該当し、合格した場合には必ず本学に入学することを確約できる者 (1) 大阪府内に所在する高等学校で、工業、農業及びこれらに類する職業教育を主とする学科に在籍する者 なお 在籍学科により出願可能な学科に制限(詳細は募集要項参照のこと)があります。 (2) 高等学校長が責任をもって推薦できる者(推薦要件詳細は募集要項参照のこと) ただし、1つの高等学校で推薦できる人数は、募集学科1学科につき1名とする。同一人の複数学科への推薦は認めません。	大学入試センター試験を免除し、出願書類(調査書、高等学校長の推薦書、志望理由書)、小論文(志望各学科専門分野に関連する基礎的課題について論述する。論述に加えて、簡単なスケッチ、イラストや工作を要求することもある)及び口述(学習意欲及び適性に関して口頭試問を行う。なお、建築学科への出願者は建築製図あるいは建築構造設計などの成果物「作品あるいは設計図書など」を持参すること)を総合して判定する。	出願期間 平成29年 11月1日(水) ～11月7日(火) 選考期日 平成29年 11月18日(土) 合格者発表 平成29年 12月1日(金)
工学部 建築学科	6名		次に掲げる基準をいずれも満たす者で、本学が指定する高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。)の学校長が推薦する者 (1) 本学が指定する高等学校を平成30年3月に卒業見込みの者 (2) 高等学校在学中の学業成績が一定基準以上の者 (詳細は指定高等学校宛に通知します)	大学入試センター試験を免除し、出願書類(調査書、高等学校長の推薦書、志望理由書)及び面接を総合して判定する。	出願期間 平成29年 11月1日(水) ～11月7日(火) 選考期日 平成29年 11月18日(土) 合格者発表 平成29年 12月1日(金)

学部・学科	募集人員	出願要件	選抜方法	備考
医学部 看護学科	推薦方式Ⅰ 2名 推薦方式Ⅱ 8名	<p>平成30年3月卒業見込みの者で、次の(1)及び(2)に該当し、本学科が定める大学入試センター試験の教科・科目を受験した者で、合格した場合には必ず本学に入学することを確約できる者</p> <p>(1) 学力のみならず、人物、能力、資質等において特に優れ、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(2) 本学を卒業後、看護職者として保健・医療及び社会福祉に貢献しようとする積極的な意思を有し、看護の実践分野で活躍できる者</p> <p>(注) 「高等学校、中等教育学校後期課程」以外の学校に在学する者は、本学において事前協議を行い、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた場合に出願できます。</p> <p>【推薦方式Ⅰ(限定枠)】 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 本人又は本人の保護者が平成29年4月1日以前から引き続き大阪市内に住所(住民票があること)を有する者</p> <p>② 本人の在学する学校が大阪市内にある者</p> <p>③ 大阪市立の学校に在学する者</p> <p>【推薦方式Ⅱ(全国枠)】 前述の推薦方式Ⅰに該当しない者</p> <p>(注) 推薦方式Ⅰで不合格となった者は、推薦方式Ⅱに該当する者と共に再度選抜します。</p> <p>※各学校において、複数名、推薦できます。</p>	<p>志望理由書等の出願書類及び大学入試センター試験の成績を総合して判定する。</p> <p>※大学入試センター試験の受験科目について</p> <p>国語 「国語」 地理歴史・公民 「世界史A」、「世界史B」、 「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択 数学 「数学Ⅰ・数学A」と (「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択)の計2科目 理科 「物理」、「化学」、「生物」から1科目選択 外国語 「英語」、「ドイツ語」、 「フランス語」、「中国語」、 「韓国語」から1科目選択 (英語にはリスニングを含む) 5教科6科目</p>	<p>出願期間 平成29年 12月14日(木) ～12月20日(水)</p> <p>合格者発表 平成30年 2月6日(火)</p>
生活科学部 食品栄養科学科 居住環境学科 人間福祉学科	推薦方式Ⅰ 食品栄養科学科 2名 居住環境学科 2名 人間福祉学科 2名 推薦方式Ⅱ 食品栄養科学科 6名 居住環境学科 6名 人間福祉学科 10名	<p>次の(ア)(イ)のいずれかに該当する者で、本学部が定める大学入試センター試験の教科・科目を受験した者で下記の推薦方式Ⅰ又は推薦方式Ⅱに該当し、合格した場合には必ず本学に入学することを確約できる者</p> <p>(ア) 「高等学校等」(注)を平成29年3月以降に卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(イ) 「高等学校等」以外の学校を平成28年4月以降に卒業(修了)した者及び平成30年3月卒業(修了)見込みの者で、本学において「高等学校等」を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもの(本学において事前協議が必要)</p> <p>(注) (ア)(イ)にいう「高等学校等」とは、日本国内の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)及び特別支援学校の高等部をいいます。</p> <p>【推薦方式Ⅰ(限定枠)】 次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、学力のみならず人物、能力、資質等において特に優れ、高等学校等の学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(1) 次の①②のいずれかに該当する者</p> <p>① 平成28年4月以降に卒業(修了)した者 本人又は保護者が平成28年4月1日以前から引き続き大阪市内に住所(住民票があること)を有する者</p> <p>② 平成30年3月に卒業(修了)見込みの者 本人又は保護者が平成29年4月1日以前から引き続き大阪市内に住所(住民票があること)を有する者</p> <p>(2) 大阪市立の高等学校等又は大阪市内にある高等学校等を卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者</p> <p>※ 推薦方式Ⅰで不合格となった者は、推薦方式Ⅱに該当する者と共に再度選抜します。</p> <p>【推薦方式Ⅱ(全国枠)】 上記推薦方式Ⅰに該当しないが、学力のみならず人物、能力、資質等において特に優れ、高等学校等の学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>※各学校において、複数名、推薦できます。</p>	<p>志望理由書等の出願書類及び大学入試センター試験の成績を総合して判定し、指定した者のみ口述試験を実施します。</p> <p>※大学入試センター試験の受験科目について</p> <p>国語 「国語」 地理歴史・公民 「世界史A」、「世界史B」、 「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択 ただし、人間福祉学科は「世界史A」、「日本史A」、「地理A」を除く。 数学 「数学Ⅰ・数学A」と (「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択)の計2科目 理科 「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」から2科目又は「物理」、「化学」、 「生物」、「地学」から1科目選択。 ただし、食品栄養科学科の志願者は「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 外国語 「英語」 (英語にはリスニングを含む)</p>	<p>出願期間 平成29年 12月14日(木) ～12月20日(水)</p> <p>合格者発表 平成30年 2月6日(火)</p>

(3) 国際バカロレア入試・帰国生徒入試の概要

学部・学科	募集人員	出願要件	選抜方法	備考
文学部	若干名	<p><国際バカロレア入試> 次の(1)及び(2)に該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)を2016年4月から2018年3月までに授与された者もしくは授与される見込みの者で2018年3月31日までに18歳に達するもの(2000年4月1日以前に生まれた者) ※見込みで合格した場合でも2018年3月31日までに国際バカロレア資格を取得できない場合は、合格取消となります。 (2) 言語Aを日本語により履修した者 (日本語A以外の場合は、出願資格審査を行いますので、10月2日(月)までに学生サポートセンター文学部教務担当に問い合わせてください。)</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、筆答試験(小論文)、口述試験及び出願書類の内容を総合して判定する。</p>	<p>出願期間 2017年 10月20日(金) ～10月26日(木) 選考期日 2017年 11月18日(土) 合格者発表 2017年 12月8日(金)</p>
		<p><帰国生徒入試> 日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、次の各号のいずれかに該当する者 (1) 外国において学校教育における12年の課程を、2016年4月1日から2018年3月までに卒業又は卒業見込みの者で2018年3月31日までに18歳に達するもの(2000年4月1日以前に生まれた者)。また、最終学年を含め3学年以上継続して外国の学校(日本の高等学校に相当する課程をいう)に在学した者。ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けた者とはみなさない。 (2) 外国において上記(1)と同等以上の学力があると認められる大学入学資格を有するもので2018年3月31日までに18歳に達するもの(2000年4月1日以前に生まれた者) (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を2016年又は2017年に取得した者で2018年3月31日までに18歳に達するもの(2000年4月1日以前に生まれた者) (4) フランス共和国の大学入学資格として認められているバカロレア資格を2016年又は2017年に取得した者で2018年3月31日までに18歳に達するもの(2000年4月1日以前に生まれた者)</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、筆答試験(小論文、※外国語)、口述試験及び出願書類の内容を総合して判定する。 ※外国語について「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」から1科目選択解答する。</p>	
生活科学部 食品栄養科学科 居住環境学科 人間福祉学科	若干名	<p><国際バカロレア入試> 次の(1)及び(2)に該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)を2016年4月から2018年3月までに授与された者もしくは授与される見込みの者で2018年3月31日までに18歳に達するもの(2000年4月1日以前に生まれた者) ※見込みで合格した場合でも2018年3月31日までに国際バカロレア資格を取得できない場合は、合格取消となります。 (2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①及び②に該当する者 ①言語Aを日本語により履修し、成績評価が4以上の者 (日本語A以外の場合は、出願資格審査を行いますので、10月2日(月)までに学生サポートセンター生活科学部教務担当に問い合わせてください。) ②本学の指定する下記科目を履修し、成績評価が4以上の者 <食品栄養科学科> 物理(HL)、化学(HL)、生物(HL)から1科目 <居住環境学科> 物理(HL)、数学(HL)から1科目 <人間福祉学科> 英語(HL)</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、筆答試験(小論文)、口述試験及び出願書類の内容により判定する。</p>	<p>出願期間 2017年 10月20日(金) ～10月26日(木) 選考期日 2017年 11月18日(土) 合格者発表 2017年 12月8日(金)</p>

(4) 社会人入試の概要

学部・学科	募集人員	出願要件	選抜方法	備考
経済学部 経済学科	5名	平成30年3月31日において次の1及び2の両条件を満たす者 1 満28歳以上の者 2 次のいずれかに該当すること (1) 高等学校を卒業した者 (2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者 (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 (5) 文部科学大臣の指定した者 (6) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者、及び平成30年3月31日までに合格見込みの者(廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む) (7) 相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると、本学において認められた者(本学において事前協議が必要)	大学入試センター試験を免除し、出願書類の内容及び以下の選抜試験の成績を総合して判定する。 (1) 筆答試験 「小論文」、 「英語」 (2) 口述試験 筆答試験の所定の科目をすべて受験した者に対して行う。	出願期間 平成30年 1月15日(月) ～1月19日(金) 選考期日 平成30年 2月25日(日) 26日(月) 合格者発表 平成30年 3月9日(金)
医学部 看護学科 (学士・社会人)	5名	次の(1)～(3)のすべてに該当する者 (1) 次の①～③のいずれかに該当する者 ① 大学入学資格を有し、平成30年3月末日をもって4年以上の社会人としての経験を有する者 ② 大学を卒業した者又は平成30年3月までに卒業見込みの者 ③ 学校教育法第104条第4項の規定により、学士の学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者 (2) 本学を卒業後、大阪府内の看護職者として保健・医療及び福祉に貢献しようという意志のある者 (3) 看護師・准看護師・保健師・助産師いずれの資格(国家試験受験資格を含む)も有していない者	大学入試センター試験を免除し、出願書類の内容及び以下の選抜試験の成績を総合して判定する。 (1) 筆答試験 「国語」(国語総合・現代文B) 又は「数学」(数学I・数学II・ 数学A・数学B)から1教科選択。 外国語「英語」(コミュニケーション英語I・II・III、 英語表現I・IIを出題範囲とする。) (2) 口述試験 筆答試験の所定の科目をすべて受験した者に対して行う。	出願期間 平成30年 1月15日(月) ～1月19日(金) 選考期日 平成30年 2月25日(日) 26日(月) 合格者発表 平成30年 3月9日(金)

6 平成29年度 入試結果

【一般入試 入試結果】

(1)志願・受験・合格・入学者数等

【大阪市立大学】 単位:人/倍/%

学部・学科	日程	募集人員	志願者		受験者		合格者					入学手続者 (追加合格者は含まない)	追加合格者	入学 辞退者	
			人数	倍率	人数	倍率	人数	割増率	現役	その他	現役率				
商学部	前	183	535 (238)	2.9	525 (232)	2.9	202 (83)	10.4	172 (77)	30 (6)	85.1	199 (82)	0 (0)	0 (0)	
	後	25	176 (81)	7.0	176 (81)	7.0	26 (11)	4.0	14 (8)	12 (3)	53.8	19 (9)	0 (0)	0 (0)	
	計	208	711 (319)	3.4	701 (313)	3.4	228 (94)	9.6	186 (85)	42 (9)	81.6	218 (91)	0 (0)	0 (0)	
経済学部	前	170	604 (150)	3.6	594 (145)	3.5	180 (46)	5.9	133 (35)	47 (11)	73.9	178 (46)	0 (0)	0 (0)	
	後・高得点	30	479 (129)	16.0	479 (129)	16.0	36 (12)	20.0	22 (9)	14 (3)	61.1	26 (9)	0 (0)	0 (0)	
	後・ユニーク	15	115 (36)	7.7	115 (36)	7.7	19 (6)	26.7	16 (6)	3 (0)	84.2	17 (5)	0 (0)	0 (0)	
	計	215	1,198 (315)	5.6	1,188 (310)	5.5	235 (64)	9.3	171 (50)	64 (14)	72.8	221 (60)	0 (0)	0 (0)	
法学部	前	145	478 (199)	3.3	469 (197)	3.2	153 (69)	5.5	129 (61)	24 (8)	84.3	150 (69)	0 (0)	0 (0)	
	後	20	412 (183)	20.6	135 (49)	6.8	23 (12)	15.0	15 (10)	8 (2)	65.2	18 (11)	0 (0)	0 (0)	
	計	165	890 (382)	5.4	604 (246)	3.7	176 (81)	6.7	144 (71)	32 (10)	81.8	168 (80)	0 (0)	0 (0)	
文学部	前	125	445 (273)	3.6	434 (268)	3.5	132 (84)	5.6	114 (74)	18 (10)	86.4	129 (83)	0 (0)	0 (0)	
	後	30	373 (239)	12.4	202 (121)	6.7	36 (23)	20.0	27 (20)	9 (3)	75.0	36 (23)	0 (0)	0 (0)	
	計	155	818 (512)	5.3	636 (389)	4.1	168 (107)	8.4	141 (94)	27 (13)	83.9	165 (106)	0 (0)	0 (0)	
理学部	前	数学科	18	61 (12)	3.4	59 (11)	3.3	21 (4)	16.7	14 (3)	7 (1)	66.7	20 (4)	0 (0)	0 (0)
		物理学科	22	76 (9)	3.5	76 (9)	3.5	26 (2)	18.2	20 (2)	6 (0)	76.9	23 (1)	0 (0)	0 (0)
		化学科	25	88 (32)	3.5	83 (30)	3.3	31 (12)	24.0	23 (10)	8 (2)	74.2	28 (11)	0 (0)	0 (0)
		生物学科	16	55 (22)	3.4	54 (21)	3.4	19 (8)	18.8	15 (6)	4 (2)	78.9	19 (8)	0 (0)	0 (0)
		地球学科	12	52 (11)	4.3	50 (9)	4.2	15 (4)	25.0	11 (1)	4 (3)	73.3	12 (3)	0 (0)	0 (0)
		理科選択	9	37 (12)	4.1	36 (12)	4.0	13 (2)	44.4	9 (1)	4 (1)	69.2	12 (1)	0 (0)	0 (0)
		計	102	369 (98)	3.6	358 (92)	3.5	125 (32)	22.5	92 (23)	33 (9)	73.6	114 (28)	0 (0)	0 (0)
	後	数学科	6	128 (20)	21.3	92 (15)	15.3	10 (1)	66.7	6 (0)	4 (1)	60.0	8 (1)	0 (0)	0 (0)
		物理学科	7	128 (18)	18.3	76 (8)	10.9	14 (1)	100.0	8 (1)	6 (0)	57.1	12 (1)	0 (0)	0 (0)
		化学科	7	93 (43)	13.3	48 (20)	6.9	12 (5)	71.4	8 (4)	4 (1)	66.7	8 (2)	0 (0)	0 (0)
		生物学科	6	115 (55)	19.2	62 (27)	10.3	9 (4)	50.0	6 (3)	3 (1)	66.7	7 (2)	0 (0)	0 (0)
		地球学科	3	24 (7)	8.0	17 (5)	5.7	4 (2)	33.3	4 (2)	0 (0)	100.0	3 (2)	0 (0)	0 (0)
		計	29	488 (143)	16.8	295 (75)	10.2	49 (13)	69.0	32 (10)	17 (3)	65.3	38 (8)	0 (0)	0 (0)
計	131	857 (241)	6.5	653 (167)	5.0	174 (45)	32.8	124 (33)	50 (12)	71.3	152 (36)	0 (0)	0 (0)		
工学部	前	機械工学科	45	210 (12)	4.7	206 (12)	4.6	50 (5)	11.1	39 (5)	11 (0)	78.0	49 (5)	0 (0)	0 (0)
		電子・物理工学科	33	97 (3)	2.9	96 (3)	2.9	37 (1)	12.1	28 (1)	9 (0)	75.7	35 (1)	0 (0)	0 (0)
		電気情報工学科	33	155 (15)	4.7	149 (14)	4.5	36 (3)	9.1	26 (3)	10 (0)	72.2	36 (3)	0 (0)	0 (0)
		化学バイオ工学科	45	124 (33)	2.8	123 (33)	2.7	50 (13)	11.1	40 (10)	10 (3)	80.0	49 (13)	0 (0)	0 (0)
		建築学科	21	131 (35)	6.2	128 (33)	6.1	23 (5)	9.5	16 (3)	7 (2)	69.6	23 (5)	0 (0)	0 (0)
		都市学科	40	110 (19)	2.8	108 (18)	2.7	44 (11)	10.0	37 (10)	7 (1)	84.1	44 (11)	0 (0)	0 (0)
		計	217	827 (117)	3.8	810 (113)	3.7	240 (38)	10.6	186 (32)	54 (6)	77.5	236 (38)	0 (0)	0 (0)
	後	機械工学科	10	218 (17)	21.8	121 (6)	12.1	14 (0)	40.0	11 (0)	3 (0)	78.6	5 (0)	1 (0)	0 (0)
		電子・物理工学科	8	90 (4)	11.3	46 (2)	5.8	16 (2)	100.0	11 (1)	5 (1)	68.8	7 (1)	0 (0)	0 (0)
		電気情報工学科	8	194 (12)	24.3	94 (7)	11.8	15 (1)	37.5	10 (1)	5 (0)	66.7	9 (1)	0 (0)	0 (0)
		化学バイオ工学科	10	110 (34)	11.0	59 (15)	5.9	13 (5)	30.0	12 (5)	1 (0)	92.3	10 (4)	0 (0)	0 (0)
		建築学科	6	154 (39)	25.7	72 (15)	12.0	8 (1)	33.3	3 (1)	5 (0)	37.5	7 (1)	0 (0)	0 (0)
		都市学科	9	107 (15)	11.9	68 (13)	7.6	12 (1)	33.3	4 (1)	8 (0)	33.3	8 (1)	0 (0)	0 (0)
計	51	873 (121)	17.1	460 (58)	9.0	78 (10)	52.9	51 (9)	27 (1)	65.4	46 (8)	1 (0)	0 (0)		
計	268	1,700 (238)	6.3	1,270 (171)	4.7	318 (48)	18.7	237 (41)	81 (7)	74.5	282 (46)	1 (0)	0 (0)		
医学部	前	医学科	95	346 (117)	3.6	318 (111)	3.3	95 (25)	0.0	46 (15)	49 (10)	48.4	95 (25)	0 (0)	0 (0)
		看護学科	40	175 (161)	4.4	162 (149)	4.1	42 (37)	5.0	30 (26)	12 (11)	71.4	39 (34)	1 (1)	0 (0)
		計	135	521 (278)	3.9	480 (260)	3.6	137 (62)	1.5	76 (41)	61 (21)	55.5	134 (59)	1 (1)	0 (0)
生活科学部	前	食品栄養科学科	27	112 (101)	4.1	105 (95)	3.9	28 (25)	3.7	26 (23)	2 (2)	92.9	27 (24)	0 (0)	0 (0)
		居住環境学科	35	146 (119)	4.2	138 (111)	3.9	37 (30)	5.7	30 (24)	7 (6)	81.1	37 (30)	0 (0)	0 (0)
		人間福祉学科	33	116 (96)	3.5	101 (85)	3.1	34 (30)	3.0	29 (26)	5 (4)	85.3	31 (27)	2 (2)	0 (0)
		計	95	374 (316)	3.9	344 (291)	3.6	99 (85)	4.2	85 (73)	14 (12)	85.9	95 (81)	2 (2)	0 (0)
合計	前	1,172	4,153 (1,669)	3.5	4,014 (1,598)	3.4	1,268 (499)	8.2	987 (416)	281 (83)	77.8	1,235 (486)	3 (3)	0 (0)	
	後	200	2,916 (932)	14.6	1,862 (549)	9.3	267 (87)	33.5	177 (72)	90 (15)	66.3	200 (73)	1 (0)	0 (0)	
	合計	1,372	7,069 (2,601)	5.2	5,876 (2,147)	4.3	1,535 (586)	11.9	1,164 (488)	371 (98)	75.8	1,435 (559)	4 (3)	0 (0)	

注1 ()内は女子で内数。

2 第1段階選抜不合格者は、医学部医学科17名、法学部後期日程116名。

3 入学手続者欄は、当初合格者の入学手続者数で、追加合格者は含まない。

4 追加合格者は、入学手続者。

5 入学辞退者は、入学手続後の辞退者。

6 志願者数には、センター試験の本科指定科目を受験していない等の理由により失格になった者3名を含む。

7 後期日程の商学部・経済学部については個別学力検査等を課していないが、統計処理上失格者を除いた志願者数を受験者としている。

(2)最高・最低・平均点表(合格者)

【大阪市立大学】 単位:点

学部・学科名	日程	大学入試センター試験			個別学力検査等			総 点			配 点			
		最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	センター	個別	総 点	
商 学 部	前	457.5	356.9	390.9	346.8	216.6	265.9	745.9	621.8	656.8	500	500	1000	
	後	540.4	508.2	522.3	—	—	—	540.4	508.2	522.3	600	—	600	
経済学部	高得点 ユニーク	前	388.3	300.7	344.7	289.5	184.5	232.0	654.6	548.3	576.8	450	450	900
		後	499.0	472.0	480.7	—	—	—	499.0	472.0	480.7	550	—	550
法 学 部	前	780.0	641.8	710.8	429.0	297.0	358.7	1185.0	1025.4	1069.5	900	600	1500	
	後	157.4	134.2	147.2	235.0	196.0	213.3	382.1	349.3	360.4	180	300	480	
文 学 部	前	400.2	315.8	357.0	258.0	185.0	216.7	642.2	544.4	573.7	450	400	850	
	後	404.7	325.6	363.5	268.0	200.0	236.0	672.7	573.1	599.5	450	400	850	
理 学 部	前	数 学 科	369.4	292.7	336.4	363.0	239.0	293.1	712.5	593.8	629.5	450	500	950
		物 理 学 科	354.0	310.7	334.2	360.0	263.0	294.3	694.9	593.9	628.4			
		化 学 科	404.0	318.7	346.3	361.0	238.0	278.8	723.0	586.4	625.1			
		生 物 学 科	397.5	327.4	356.7	393.0	241.0	293.4	786.4	604.6	650.1			
		地 球 学 科	358.5	309.6	332.0	281.0	228.0	258.0	620.7	567.6	590.0			
	理 科 選 択	357.3	313.7	339.0	280.0	238.0	254.7	633.3	583.7	593.7				
	後	数 学 科	447.2	385.6	420.1	470.0	365.0	409.0	880.8	785.8	829.1	500	500	1000
		物 理 学 科	373.7	295.4	339.4	400.0	324.0	357.4	737.2	668.7	696.8	400	400	800
		化 学 科	675.0	583.6	615.4	285.0	216.0	263.9	957.0	849.0	879.4	700	300	1000
		生 物 学 科	560.8	525.6	543.7	350.0	288.0	316.9	888.0	838.8	860.6	600	400	1000
地 球 学 科		333.4	211.6	276.8	323.0	211.0	282.5	656.4	512.6	559.3	400	400	800	
工 学 部	前	機 械 工 学 科	330.6	272.4	304.2	455.3	295.3	348.3	733.8	618.7	652.5	400	600	1000
		電 子 ・ 物 理 工 学 科	322.8	270.6	295.7	385.0	280.3	327.9	692.0	598.6	623.6			
		電 気 情 報 工 学 科	334.3	286.2	303.1	429.3	301.3	341.2	728.5	609.6	644.2			
		化 学 バイオ工 学 科	344.4	272.3	299.4	400.3	262.5	321.9	699.4	582.7	621.4			
		建 築 学 科	340.0	283.1	304.3	419.0	323.5	376.7	723.3	648.9	681.0			
	都 市 学 科	321.7	268.9	296.7	406.0	292.8	334.1	716.7	604.2	630.8				
	後	機 械 工 学 科	181.2	151.0	166.9	174.0	135.0	152.7	340.6	310.0	319.6	200	200	400
		電 子 ・ 物 理 工 学 科	179.1	147.3	165.6	185.0	125.0	148.9	360.6	296.9	314.5	200	200	400
		電 気 情 報 工 学 科	181.0	135.7	167.6	184.0	132.0	155.0	354.6	307.0	322.6	200	200	400
		化 学 バイオ工 学 科	279.1	232.1	249.8	155.0	122.0	136.2	433.1	367.6	386.0	300	200	500
建 築 学 科		178.0	155.2	164.9	185.0	130.0	157.6	340.2	305.1	322.5	200	200	400	
都 市 学 科	181.9	158.1	169.0	150.0	104.0	127.8	324.3	285.2	296.7	200	200	400		
医 学 部	前	医 学 科	623.7	541.8	588.6	717.5	526.5	625.1	1317.8	1150.2	1213.7	650	800	1450
		看 護 学 科	387.0	306.6	345.0	213.8	128.3	180.0	569.5	494.6	525.0	450	300	750
生 活 科 学 部	前	食 品 栄 養 学 科	419.2	355.5	393.2	363.0	255.0	301.9	747.8	662.7	695.0	500	450	950
		居 住 環 境 学 科	427.6	372.3	400.3	234.0	158.3	194.2	643.9	562.8	594.5			
		人 間 福 祉 学 科	414.9	353.1	388.5	199.5	136.5	166.0	580.7	537.6	554.5			

注 合格者の決定は、平成29年度大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合して行った。

本データは、当初合格者のデータをまとめたもので、追加合格者は含んでいない。

(3) 入学志願者数推移表 (過去3年間)

単位: 人/倍

学部・学科名	日程	平成29年度			平成28年度			平成27年度			
		募集人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者数	倍率	
商学部	前	183	535	2.9	183	433	2.4	183	460	2.5	
	後	25	176	7.0	25	127	5.1	25	336	13.4	
経済学部	前	170	604	3.6	170	471	2.8	170	416	2.4	
	後・高得点	30	479	16.0	30	222	7.4	30	106	3.5	
	後・ユニーク	15	115	7.7	15	66	4.4	15	96	6.4	
法学部	前	145	478	3.3	145	446	3.1	145	402	2.8	
	後	20	412	20.6	20	351	17.6	20	333	16.7	
文学部	前	125	445	3.6	125	400	3.2	125	443	3.5	
	後	30	373	12.4	30	307	10.2	30	350	11.7	
理学部	前	数学科	18	61	3.4	18	53	2.9	18	62	3.4
		物理学科	22	76	3.5	22	74	3.4	22	63	2.9
		化学科	25	88	3.5	25	87	3.5	25	59	2.4
		生物学科	16	55	3.4	16	57	3.6	16	37	2.3
		地球学科	12	52	4.3	12	20	1.7	12	34	2.8
		理科選択	9	37	4.1	9	26	2.9	9	12	1.3
		前期計	102	369	3.6	102	317	3.1	102	267	2.6
	後	数学科	6	128	21.3	6	80	13.3	6	89	14.8
		物理学科	7	128	18.3	7	109	15.6	7	136	19.4
		化学科	7	93	13.3	7	31	4.4	7	28	4.0
		生物学科	6	115	19.2	6	69	11.5	6	60	10.0
		地球学科	3	24	8.0	3	10	3.3	3	8	2.7
		後期計	29	488	16.8	29	299	10.3	29	321	11.1
		前期計	131	857	6.5	131	616	4.6	131	588	4.5
工学部	前	機械工学科	45	210	4.7	45	214	4.8	45	186	4.1
		電子・物理工学科	33	97	2.9	33	97	2.9	33	105	3.2
		電気情報工学科	33	155	4.7	33	165	5.0	33	156	4.7
		化学バイオ工学科	45	124	2.8	45	160	3.6	45	161	3.6
		建築学科	21	131	6.2	21	106	5.0	21	84	4.0
		都市学科	40	110	2.8	40	117	2.9	40	146	3.7
		前期計	217	827	3.8	217	859	4.0	217	838	3.9
	後	機械工学科	10	218	21.8	10	212	21.2	10	204	20.4
		電子・物理工学科	8	90	11.3	8	93	11.6	8	87	10.9
		電気情報工学科	8	194	24.3	8	152	19.0	8	122	15.3
		化学バイオ工学科	10	110	11.0	10	53	5.3	10	68	6.8
		建築学科	6	154	25.7	6	132	22.0	6	113	18.8
		都市学科	9	107	11.9	9	94	10.4	9	146	16.2
		後期計	51	873	17.1	51	736	14.4	51	740	14.5
前期計	268	1700	6.3	268	1595	5.9	268	1578	5.9		
医学部	前	医学科	95	346	3.6	95	293	3.1	95	308	3.2
		看護学科	40	175	4.4	40	139	3.5	40	155	3.9
		前期計	135	521	3.9	135	432	3.2	135	463	3.4
生活科学部	前	食品栄養科学科	27	112	4.1	27	126	4.7	27	110	4.1
		居住環境学科	35	146	4.2	35	138	3.9	35	119	3.4
		人間福祉学科	33	116	3.5	33	127	3.8	36	101	2.8
		前期計	95	374	3.9	95	391	4.1	98	330	3.4
総合計	前	1,172	4,153	3.5	1,172	3,749	3.2	1,175	3,619	3.1	
	後	200	2,916	14.6	200	2,108	10.5	200	2,282	11.4	
	総計	1,372	7,069	5.2	1,372	5,857	4.3	1,375	5,901	4.3	

注 医学部、生活科学部は、後期日程を実施していない。

参考:高校都道府県別 志願者・入学者数調

単位:人

都道府県名	志願者数	入学者数	都道府県名	志願者数	入学者数
北海道	14 (3)	1 (1)	滋賀	160 (47)	30 (11)
青森	2 (1)	2 (1)	京都	410 (143)	84 (26)
岩手	1 (1)	0 (0)	大阪	3,464 (1,258)	672 (255)
宮城	1 (1)	0 (0)	兵庫	1,080 (460)	226 (97)
秋田	1 (1)	0 (0)	奈良	795 (247)	146 (56)
山形	1 (1)	0 (0)	和歌山	187 (74)	62 (29)
福島	1 (0)	0 (0)	鳥取	21 (6)	8 (2)
茨城	10 (5)	0 (0)	島根	23 (8)	9 (3)
栃木	2 (2)	1 (1)	岡山	51 (20)	13 (4)
群馬	5 (1)	0 (0)	広島	90 (37)	20 (9)
埼玉	4 (2)	0 (0)	山口	19 (12)	3 (1)
千葉	10 (3)	1 (1)	徳島	25 (14)	5 (3)
東京	35 (13)	2 (2)	香川	57 (20)	15 (6)
神奈川	19 (5)	3 (1)	愛媛	43 (13)	12 (5)
新潟	2 (1)	0 (0)	高知	31 (13)	8 (3)
富山	12 (8)	4 (3)	福岡	52 (17)	12 (5)
石川	18 (9)	5 (2)	佐賀	4 (1)	2 (0)
福井	36 (21)	16 (9)	長崎	6 (2)	0 (0)
山梨	4 (0)	0 (0)	熊本	17 (11)	3 (3)
長野	12 (5)	1 (1)	大分	13 (7)	2 (1)
岐阜	34 (12)	9 (5)	宮崎	14 (6)	3 (0)
静岡	28 (9)	4 (1)	鹿児島	18 (5)	1 (0)
愛知	121 (43)	26 (9)	沖縄	18 (2)	4 (0)
三重	68 (25)	19 (6)	その他	30 (6)	5 (0)
			合計	7,069 (2,601)	1,439 (562)

注1 ()内は女子で内数。

注2 都道府県欄のその他は高等学校卒業程度認定試験合格者等による出願。

【過去問題について】

一般入試の過去問題については、個人の方への配付はしておりませんので、市販の参考書等をご利用ください。

その他入試については、学生サポートセンター各学部教務担当で閲覧できます。

詳細は、学生サポートセンター各学部教務担当にお問い合わせください。

【その他入試 入試結果】

専門学科・総合学科卒業生、推薦、国際バカロレア、帰国生徒、社会人（学士・社会人含む）入試における志願・受験・合格・入学者数
単位：人

1 専門学科・ 総合学科卒業生

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
商学部	6	6 (1)	4 (0)	2 (0)	2 (0)

()内は女子で内数

2 推 薦

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数		
商学部	6	7 (5)	7 (5)	5 (4)	5 (4)		
理学部	物理学科	3	18 (7)	18 (7)	4 (2)	4 (2)	
	化学科	5	19 (6)	19 (6)	6 (3)	6 (3)	
	生物学科	6	20 (10)	20 (10)	6 (2)	6 (2)	
	地球学科	3	13 (4)	13 (4)	3 (2)	3 (2)	
理学部計	17	70 (27)	70 (27)	19 (9)	19 (9)		
工学部	機械工学科	1	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	電子・物理工学科	1	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	電気情報工学科	1	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	
	化学バイオ工学科	1	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	建築学科	1	3 (0)	3 (0)	1 (0)	1 (0)	
	都市学科	1	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	(指定校) 建築学科	6	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)	
工学部計	12	15 (2)	15 (2)	12 (2)	12 (2)		
医学部看護学科	限定枠	2	24 (23)	24 (23)	2 (2)	2 (2)	
	全国枠	8	71 (68)	71 (68)	8 (7)	8 (7)	
医学部看護学科計	10	95 (91)	95 (91)	10 (9)	10 (9)		
生活科学部	食品栄養科学科	限定枠	2	24 (23)	24 (23)	2 (1)	2 (1)
		全国枠	6	106 (101)	106 (101)	6 (6)	6 (6)
	居住環境学科	限定枠	2	26 (21)	26 (21)	2 (2)	2 (2)
		全国枠	6	87 (82)	87 (82)	6 (6)	6 (6)
	人間福祉学科	限定枠	2	10 (8)	10 (8)	2 (1)	2 (1)
		全国枠	10	43 (39)	43 (39)	10 (8)	10 (8)
生活科学部計	28	296 (274)	296 (274)	28 (24)	28 (24)		
推薦計	73	483 (399)	483 (399)	74 (48)	74 (48)		

()内は女子で内数

3 国際バカロレア

学部	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
文学部	若干名	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)

()内は女子で内数

4 帰国生徒

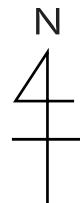
学部	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
文学部	若干名	13 (5)	12 (4)	7 (4)	5 (4)

()内は女子で内数

5 社会人

学部	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
経済学部	5	4 (1)	4 (1)	3 (0)	3 (0)
医学部 看護学科 (学士・社会人)	5	12 (10)	9 (8)	5 (5)	5 (5)
社会人計	10	16 (11)	13 (9)	8 (5)	8 (5)

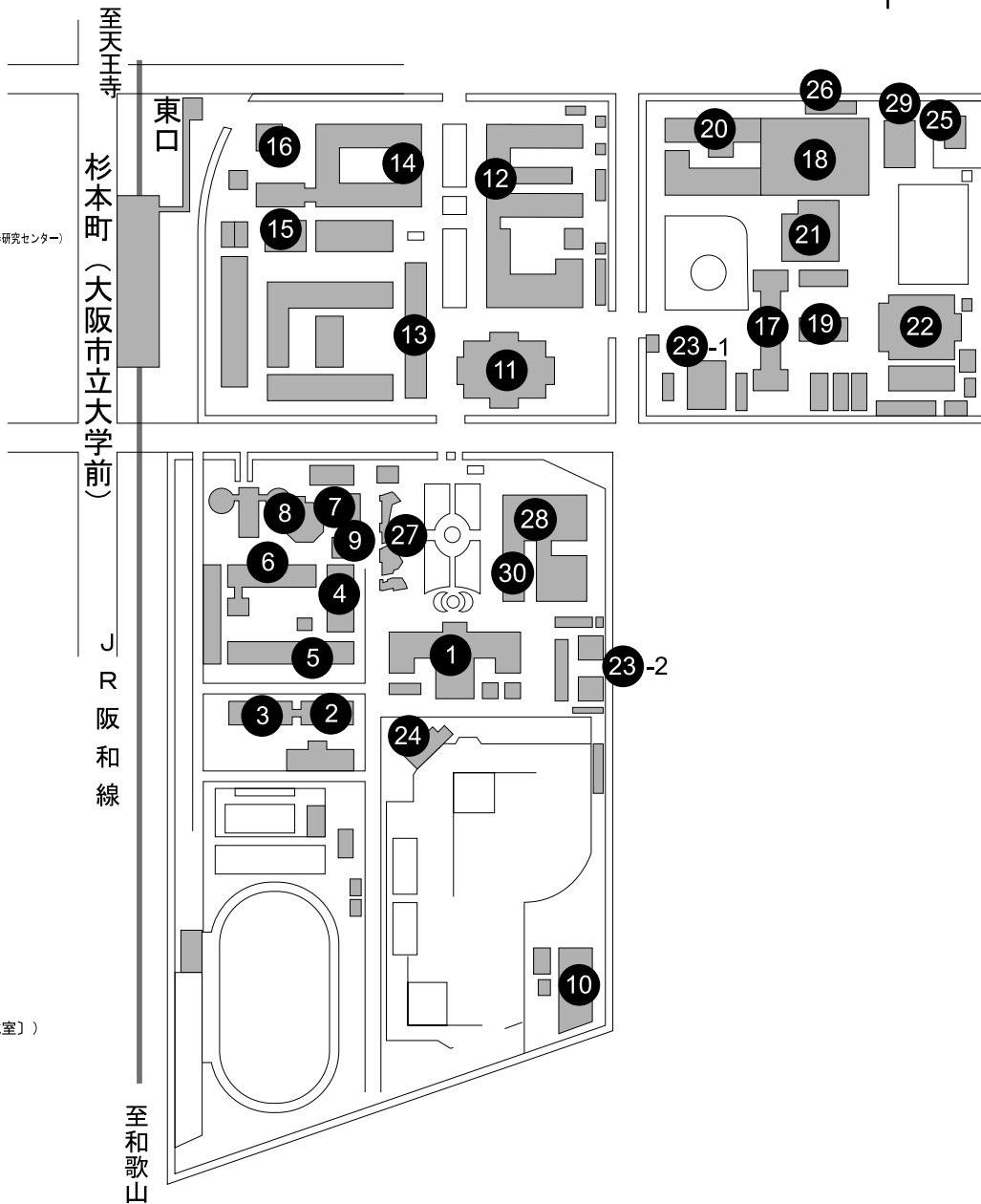
()内は女子で内数



■ 杉本キャンパス

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
 JR「杉本町(大阪市立大学前)」駅下車、東口からすぐ
 地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口より南西へ徒歩約15分

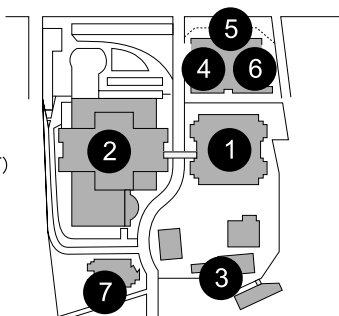
- ① 1号館 (事務室〔人事課、財務課、管理課、学務企画課、研究支援課〕)
- ② 商学部棟
- ③ 経済学部棟
- ④ 法学部棟
- ⑤ 文学部棟
- ⑥ 経済研究所棟 (創造都市研究科、人権問題研究センター、証券研究センター)
- ⑦ 都市研究プラザ
- ⑧ 田中記念館
- ⑨ 保健管理センター
- ⑩ 河海工学実験場
- ⑪ 学術情報総合センター (大学史資料室、事務室〔学術情報総合センター運営課〕)
- ⑫ 理学部棟
- ⑬ 工学部棟
- ⑭ 生活科学部棟
- ⑮ 工作技術センター
- ⑯ 生活科学部棟別館
- ⑰ 2号館
- ⑱ 全学共通教育棟 (事務室〔学務企画課、国際センター〕)
- ⑲ 4号館
- ⑳ 基礎教育実験棟
- ㉑ 第1体育館
- ㉒ 第2体育館
- ㉓-1 第1学生ホール
- ㉓-2 第2学生ホール
- ㉔ 硬式野球場スタンド
- ㉕ ゲストハウス
- ㉖ 新産業創生研究センター
- ㉗ 高原記念館
- ㉘ 学生サポートセンター (事務室〔各学部教務担当、学生支援課、入試室〕)
- ㉙ 共通研究棟
- ㉚ 本部棟 (事務室〔総務課〕)



■ 阿倍野キャンパス

〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3
 JR・地下鉄「天王寺」駅、近鉄「大阪阿部野橋」駅より西へ徒歩約10分

- ① 医学部学舎
- ② 附属病院
- ③ 医学部南館
- ④ 医学情報センター (6F)
- ⑤ 医療研修センター (7~9F)
- ⑥ 学術情報総合センター 医学分館 (8~9F)
- ⑦ 医学部看護学科学舎



MEMO

MEMO

各学部等の所在地・電話番号等（問い合わせ先）

杉本 （医学部 キャンパス 以外）	● 所在地	〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号			
	● 交通機関	JR阪和線「杉本町（大阪市立大学前）」駅下車、東口からすぐ 地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口から南西へ徒歩約15分			
	● 電話番号	商学部	06-6605-2201	理学部	06-6605-2504
		経済学部	06-6605-2251	工学部	06-6605-2653
	法学部	06-6605-2303	生活科学部	06-6605-2803	
	文学部	06-6605-2353			

阿倍野 （医学部 キャンパス）	● 所在地	【医学科】〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1丁目4番3号 【看護学科】〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番17号		
	● 交通機関	JR・地下鉄「天王寺」駅 又は近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」駅下車、西へ徒歩約10分		
	● 電話番号	医学科	06-6645-3611	看護学科

受付時間 月～金曜日（祝日及び休業日を除く）9:00～17:00
（ただし、12:00～12:45を除く）



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

大学運営本部 入試室

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
TEL 06-6605-2141 FAX 06-6605-2133

平成29年7月発行